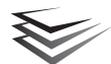
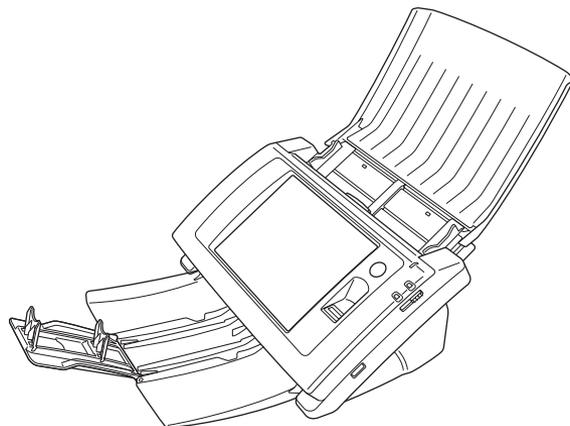


Canon

 imageFORMULA

ScanFront 300/300P

オペレーションガイド



ご使用前に必ず本書をお読みください。
将来いつでも使用できるように大切に保管してください。

■ 国際エネルギースタープログラムについて

当社は国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの「対象製品に関する基準を満たしている」と判断します。]



本製品は、工場出荷時の設定では本体を操作しないまま 12 分経過するとローパワーモードに移行します。ローパワーモードに移行する時間は最長 230 分まで変更できますが、工場出荷時の設定での使用をお勧めします。

■ 電波障害自主規制について

この装置は、クラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書に従って、正しい取り扱いをして下さい。

VCCI-B

■ JIS C 61000-3-2 適合品

本装置は高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 適合品に適合しています。

■ ご注意

- ・本書の内容の一部または全部を無断で転載することは禁止されています。
- ・本書の内容について、将来予告なしに変更することがあります。
- ・本書の内容については万全を期して作成しましたが、運用した結果の影響につきましては、前項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。

■ 複製についてのご注意

- ・紙幣、貨幣、政府発行の有価証券およびパスポート、または公共団体や民間団体発行の免許証、許可書、公文書、私文書などの複製は違法となり、処罰の対象となります。
- ・書籍、絵画、版画、地図、図面などの著作物の複製は、自己の使用以外の目的でお使いになることは禁じられていますのでご注意ください。

■ 商標および登録商標について

- ・imageFORMULA は、キヤノン電子株式会社の商標です。
- ・Microsoft、Windows、Internet Explorer、Active Directory、は、米国マイクロソフト社の米国および他の国における登録商標または商標です。
- ・Adobe、Acrobat、および Adobe Reader は、Adobe Systems Incorporated (アドビシステムズ社) の米国ならびに他の国における商標または登録商標です。
- ・その他、本書中の社名や商品名は、各社の登録商標または商標です。

■ 免責事項

本製品を用いて読み取る原稿、または読み取った画像イメージの保管や管理についてはお客様の責任で行ってください。

また、読み取った原稿を破棄する場合は、必ず、読み取り画像イメージをしっかりと精査し、欠落のないことを確認した上でお客様の責任において行ってください。

なお、当社が本製品に対して行う保証は、いかなる場合においても本製品の代金としてお客様が支払った金額を超えることはありません。予め、ご了承ください。

■ 著作権

libtiff

Copyright (c) 1988-1996 Sam Leffler

Copyright (c) 1991-1996 Silicon Graphics, Inc.

Permission to use, copy, modify, distribute, and sell this software and its documentation for any purpose is hereby granted without fee, provided that (i) the above copyright notices and this permission notice appear in all copies of the software and related documentation, and (ii) the names of Sam Leffler and Silicon Graphics may not be used in any advertising or publicity relating to the software without the specific, prior written permission of Sam Leffler and Silicon Graphics.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS-IS" AND WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS, IMPLIED OR OTHERWISE, INCLUDING WITHOUT LIMITATION, ANY WARRANTY OF MERCHANTABILITY OR FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE.

IN NO EVENT SHALL SAM LEFFLER OR SILICON GRAPHICS BE LIABLE FOR ANY SPECIAL, INCIDENTAL, INDIRECT OR CONSEQUENTIAL DAMAGES OF ANY KIND, OR ANY DAMAGES WHATSOEVER RESULTING FROM LOSS OF USE, DATA OR PROFITS, WHETHER OR NOT ADVISED OF THE POSSIBILITY OF DAMAGE, AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, ARISING OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE USE OR PERFORMANCE OF THIS SOFTWARE.

libjpeg

Portions of this software are based in part on the work of the Independent JPEG Group.

MD5

derived from the RSA Data Security, Inc. MD5 Message-Digest Algorithm

Copyright (c) 1998 - 2002, Paul Johnston & Contributors

All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

Neither the name of the author nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT OWNER OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

(Hg) LAMP(S) INSIDE THIS PRODUCT CONTAIN MERCURY AND MUST BE RECYCLED OR DISPOSED OF ACCORDING TO LOCAL, STATE OR FEDERAL LAWS.

はじめに

このたびはキャノンネットワークスキャナー「imageFORMULA ScanFront 300/300P」をお買い求めいただきありがとうございます。ご
ざいます。

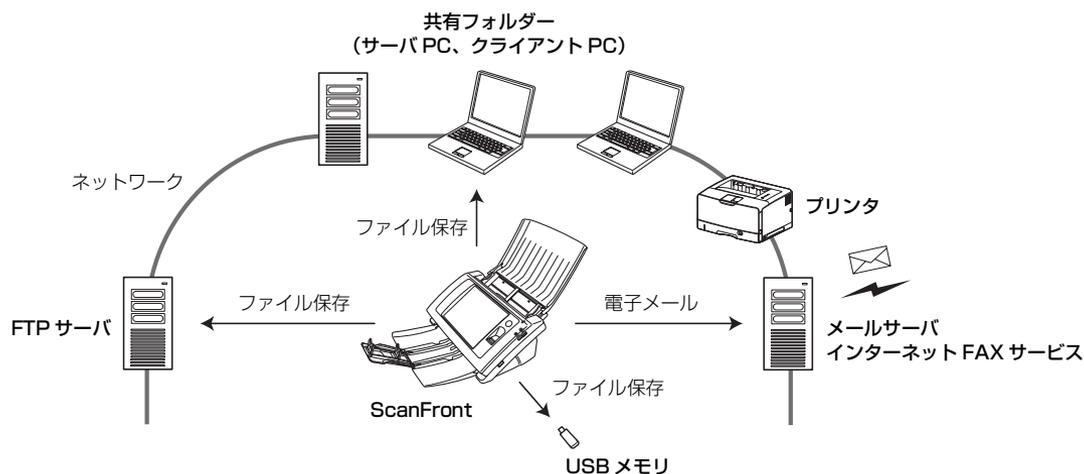
本機の機能を十分にご理解いただき、より効果的にご利用いただくために本機をご使用になるまえに本書をよくお読みいただくと
ともに、お読みになったあとは必ず保管してください。

□ ScanFront 300/300P について

ScanFront 300/300P は、コンピューターと接続しないでスキャンすることのできるネットワークスキャナーです。
ScanFront 300/300P でスキャンした画像は、ネットワーク上のサーバ PC やクライアント PC の共有フォルダーや FTP
サーバに転送したり*、プリンタに送信して印刷したり**、電子メールまたはインターネット FAX サービスによる遠隔地への配
信が可能です。また、ネットワーク環境のない場所でも USB メモリに画像ファイルを保存できます。

* セグメントが異なるネットワーク上の PC の共有フォルダーに画像ファイルを送信するためには、同梱されている ScanFront Service をネット
ワーク上の任意の PC にインストールする必要があります。

** プリンタに画像ファイルを送信するには、本製品に同梱されている ScanFront Service をネットワーク上の任意の PC にインストールする必
要があります。



ScanFront 概念図

□ マニュアルの構成について

本製品のマニュアルは以下の構成になっています。本製品をお使いになる前によくお読みください。



セットアップガイド

ScanFront を使えるようにするまでのセットアップの手順について書かれています。ScanFront の詳細については以下のオペレーションガイドおよび取扱説明書（電子マニュアル）を参照してください。



オペレーションガイド（本書）

ScanFront の概要と、ユーザが ScanFront を使用するための操作手順について書かれています。ScanFront の設定については以下の取扱説明書（電子マニュアル）を参照してください。



取扱説明書（電子マニュアル）

取扱説明書は、付属の取扱説明書/アプリケーションCD-ROM に収納されているPDF形式の電子マニュアルで、ScanFront の概要から取り扱い、メンテナンス、トラブルシューティングなど、ScanFront を取り扱う項目全般について説明しています。

□ マニュアル内の表記について

本製品のマニュアルで使用している記号・表示について説明します。マニュアルをお読みになる前に、ひととおり目を通して、その意味を理解しておいてください。

(→ P.1- xx)

参照ページを表します。カッコ内の数字は、書かれていることについての詳しい説明が記載されているページ数です。



警告

取り扱いを誤った場合に、死亡または重傷を負う恐れのある警告事項が書かれています。安全に使用していただくために、必ずこの警告事項をお守りください。



注意

取り扱いを誤った場合に、傷害を負う恐れや物的損害が発生する恐れのある注意事項が書かれています。安全に使用していただくために、必ずこの注意事項をお守りください。



重要

操作上必ず守っていただきたい重要事項や禁止事項が書かれています。機械の故障や損傷を防ぐために、必ずお読みください。



ヒント

操作の参考となることや補足説明が書かれています。必ずお読みください。

□ 本書の構成について

本書は以下の構成になっています。

第 1 章 お使いになる前に

ScanFront の概要について説明します。

第 2 章 ScanFront の取り扱い

使用できる原稿の種類と、ScanFront の基本操作について説明します。

第 3 章 ScanFront の使用方法

ユーザによるScanFrontの操作手順について説明します。

第 4 章 Web メニュー（ユーザモード）

ユーザが設定するための Web メニュー（ユーザモード）について説明します。

第 5 章 こんなときは

困ったときの対処方法について説明します。

第 6 章 付 録

サポート情報について説明します。

□ 目次

はじめに.....	i
ScanFront 300/300P について.....	i
マニュアルの構成について.....	ii
マニュアル内の表記について.....	ii
本書の構成について.....	iii

第 1 章 お使いになる前に

1. 安全にお使いいただくために.....	1-2
設置場所について.....	1-2
AC アダプターについて.....	1-2
スキャナーの移動.....	1-2
日常の取り扱いについて.....	1-3
指紋センサーについて (ScanFront 300P).....	1-4
廃棄について.....	1-4
2. 各部の名称と機能.....	1-5
前面、給排紙トレイ.....	1-5
側面、背面.....	1-6

第 2 章 ScanFront の取り扱い

1. 原稿について.....	2-2
普通紙.....	2-2
名刺.....	2-2
カード.....	2-2
2. スキャナーの準備.....	2-3
給紙トレイ、排紙トレイの準備.....	2-3
給紙切り替えレバー.....	2-4
USB ポートについて.....	2-4
3. 原稿のセット.....	2-5
原稿のセット.....	2-5
半折り原稿のセット.....	2-6
長尺紙のセット.....	2-6
カードのセット.....	2-7
4. 紙詰まりや重送を検知したときの処理.....	2-8
5. 指紋センサーについて.....	2-10
(ScanFront 300P).....	2-10
指紋センサーの取り扱い上の注意.....	2-10
指紋認証について.....	2-10

第 3 章 ScanFront の使用方法

1. 送信までの流れ.....	3-2
2. 電源のオン / オフ.....	3-3
電源のオン.....	3-3
電源のオフ.....	3-3
3. ログイン画面について.....	3-4
ログイン画面のタイプ.....	3-4
サーバ認証を使用する場合.....	3-4
「リスト選択型」ログイン画面.....	3-5
「文字入力型」ログイン画面.....	3-6
「指紋認証」(ScanFront 300P のみ).....	3-7
4. ログイン後の画面について.....	3-8
ホーム画面.....	3-8
ジョブボタン画面.....	3-8
5. ユーザ設定画面.....	3-9
パスワード変更.....	3-9
指紋登録.....	3-9
6. 指紋の登録 (ScanFront 300P).....	3-10
指紋の登録・認証について.....	3-10
指紋の登録.....	3-10
7. スキャンの手順について.....	3-12
ホーム画面からのスキャン.....	3-12
ジョブボタン画面からのスキャン.....	3-13
アドレス選択画面について.....	3-14
USB メモリ画面について.....	3-15
プリンタ画面について.....	3-16
スキャン.....	3-17
8. 宛先の登録と編集.....	3-21
宛先の新規登録.....	3-21
宛先の変更.....	3-24
宛先のコピー.....	3-24
9. 読取 / 送信設定.....	3-26
スキャン設定.....	3-27
ファイル形式.....	3-31
PDF ファイルのセキュリティ設定.....	3-32
送信設定.....	3-32

第4章 Webメニュー（ユーザモード）

1. Webメニューについて.....	4-2
2. Webメニューへのログイン.....	4-3
3. ユーザ設定.....	4-4
ユーザ編集.....	4-5
4. アドレス帳設定.....	4-8
宛先の新規登録.....	4-10
宛先のコピー.....	4-12
アドレス帳のエクスポート/インポート.....	4-13
5. ジョブボタン設定.....	4-15
ジョブボタンの新規登録.....	4-17
読取設定について.....	4-18
ジョブボタンのコピー.....	4-22
ジョブの編集.....	4-23
ジョブボタンのエクスポート/インポート.....	4-23

第5章 こんなときは

1. 困ったときは.....	5-2
----------------	-----

第6章 付録

1. 保証とアフターサービス.....	6-2
保証とアフターサービス.....	6-2
サービス&サポートのご案内.....	6-2
保守サービスのご案内.....	6-3
2. 索引.....	6-5

第 1 章 お使いになる前に

1. 安全にお使いいただくために.....	1-2
設置場所について	1-2
AC アダプターについて.....	1-2
スキャナーの移動	1-2
日常の取り扱いについて.....	1-3
指紋センサーについて (ScanFront 300P)	1-4
廃棄について	1-4
2. 各部の名称と機能.....	1-5
前面、給排紙トレイ	1-5
側面、背面.....	1-6

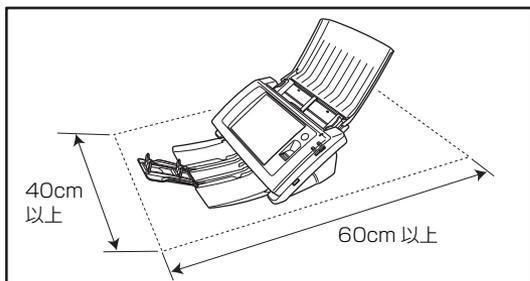
1. 安全にお使いいただくために

本製品を安全にお使いいただくため、以下の項目についての注意事項を必ずお読みください。

□ 設置場所について

本機の性能は、設置されている環境によって影響を受けることがあります。設置する場所が次の環境条件に合っていることを確認してください。

- 本機の周りには操作、保守、換気のためのスペースを十分確保してください。



- 直射日光の当たる場所は避けてください。やむをえない場合は、厚いカーテンなどで日光をさえぎってください。
- ほこりの多い場所は避けてください。ほこりは本体内部に悪影響を及ぼすことがあります。
- 水道の蛇口、湯沸器、加湿器など高温、多湿になる場所の近くや、アンモニアガス、シンナーなどが発生する場所は避けてください。
- 不安定な場所や、振動しやすい場所は避けてください。
- 温度が急激に変化する場所は避けてください。本体内部で結露が発生すると品質低下の原因になります。以下の環境下でお使いください。
室温 10℃—32.5℃
湿度 20%—80%RH
- スピーカーやテレビ、ラジオなど磁気が発生する機器の近くは避けてください。

□ AC アダプターについて

- 電源は必ず 100V のコンセントからとってください。
- 他の電気機器と同じコンセントを使用しないでください。また、延長コードを使う場合は、延長コードのアンペア数値に注意してください。
- AC アダプターの分解、改造は、危険ですので絶対に行わないでください。
- AC アダプターおよび電源コードの上に物を置いたり、踏みつけたりしないでください。
- 電源コードを束ねたまま使用しないでください。
- 電源コードを強く引っ張らないでください。電源プラグを抜くときは、電源プラグを持ち、そのまま抜いてください。
- 非常時に電源プラグが抜けるように、電源プラグの周りには物を置かないでください。
- 付属の AC アダプター以外は使用しないでください。また、付属の AC アダプターを他の製品に使用しないでください。
- 電源について不明な点があるときは、お買い求めの販売店にお問い合わせください。

□ スキャナーの移動

- スキャナーを移動する場合は、本体を落とさないように必ず両手でしっかり持ってください。スキャナー本体の質量は約 3.6kg です。
- スキャナーを移動する場合は、トレイを収納し、インターフェースケーブルや AC アダプターを、必ず外してください。ケーブル類を付けたまま持ち運ぶと、無理な力が加わってプラグやコネクタが損傷することがあります。

□ 日常の取り扱いについて

⚠ 警告

本製品をお使いになるときは、次の警告をお守りください。これらは火災や感電の原因になります。

- アルコール、シンナーなどの引火性溶剤の近くには設置しないでください。
- 電源コードを傷つけたり、破損したり、加工しないでください。また、重いものを載せたり、引っ張ったり、無理に曲げないでください。
- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。
- タコ足配線をしないでください。
- 電源コードを結んだり、束ねたりしないでください。電源プラグは奥まで確実に差し込んでください。
- 付属の電源コード、AC アダプター以外は使用しないでください。
- 本機を分解したり、改造しないでください。
- AC アダプターの分解、改造は、危険ですので絶対に行わないでください。
- 本機の近くでは可燃性のスプレーを使用しないでください。
- 清掃の際は電源を切り、電源コードをコンセントから抜いてください。
- 本機の清掃には、水を含ませて固くしぼった布を使用してください。アルコール、ベンジン、シンナーなどの引火性溶剤は使用しないでください。
- 異常音、発煙、発熱、異臭があったり、電源を入れても機械が動かないなどの異常が発生した場合は、直ちに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。そして、お買い求めの販売店または担当サービスにご連絡ください。
- 本機を落としたり、ぶつけたりして、強いショックを与えないでください。万一本機が破損した場合は、直ちに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。そして、お買い求めの販売店または担当サービスにご連絡ください。

- 本機を移動させる場合は、必ず電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

⚠ 注意

- ぐらついた台の上や傾いたところなどの不安定な場所や、振動の多い場所には設置しないでください。落ちたり倒れたりして、けがの原因になることがあります。
- 通気孔をふさがないでください。本機の内部に熱がこもり、火災の原因になることがあります。
- 本機の上には、クリップ、ステイプルの針、ネックレスなどの金属物を置かないでください。こぼれたり、中に入ると火災や感電の原因になることがあります。万一これらが本機の中に入ってしまった場合は、直ちに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。そしてお買い求めの販売店または担当サービスにご連絡ください。
- 湿気やほこりの多い場所には設置しないでください。火災や感電の原因になることがあります。
- 本機の上には物を載せないでください。置いたものが倒れたり、落下して、けがの原因になることがあります。
- AC100V 以外の電源電圧で使用しないでください。火災や感電の原因になることがあります。
- 電源プラグを抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。電源コードを引っ張ると、芯線の露出、断線などで、コードが傷つき、火災や感電の原因になることがあります。
- いつでも電源コードが抜けるように、コンセントの周りには物を置かないでください。非常時に電源コードが抜けなくなります。
- 本機の内部に、水や引火性溶剤（アルコール、シンナー、ベンジンなど）をこぼさないでください。火災や感電の原因になることがあります。
- 長時間ご使用にならないときは、安全のため、必ず AC アダプターのプラグを本体から抜き、電源プラグをコンセントから抜いてください。

- 本機を操作するときは、ゆったりとした服装を避け、装飾品など動作中の本機に引っ掛かりそうなものを身につけないでください。本機に巻き込まれてけがの原因になることがあります。特にネクタイや長い髪などにご注意ください。万一巻き込まれた場合は、直ちに電源を切って機械を停止してください。
- 原稿をセットするときや、詰まった紙を取り除くときは、慎重に扱ってください。紙の端で手を切るなど、思わぬけがをすることがあります。

- 本機および付属品を廃棄するときは、必ず法律およびその地域の条例に従って廃棄するかお買い求めの販売店にご相談ください。

□ 指紋センサーについて (ScanFront 300P)

- 以下のような場合、指紋センサーの故障および破損の原因になることがあります。
 - 指紋センサーにものを落としたり、強い衝撃を与えたりする
 - 指紋センサーの表面をひっかいたり、先のとがったものでつついたりする
 - 指紋センサーに爪や金具など硬いものを押し付ける
 - 汚れた手で指紋センサーに触れる
 - 指紋センサーの表面にシールを貼ったり、インクなどで塗りつぶしたりする
- 指紋認証の失敗が多発するようなときは、指紋センサーの汚れが原因になっていることが考えられます。定期的に指紋センサーの表面を清掃してください。
- 指紋センサーを清掃する際は、乾いたやわらかい布で表面の汚れを取り除いてください。
- 指紋センサーの周りにゴミがたまったような場合でも、先のとがったものは使用しないでください。指紋センサーの故障の原因になります。
- 静電気を帯びた状態で指紋センサーに触れると、指紋センサーおよび本体の故障の原因となる場合があります。指紋センサーに触れる前に金属に触れるなどして静電気を除去してください。特に冬季など乾燥により静電気を帯びやすい時期は、特に注意してください。

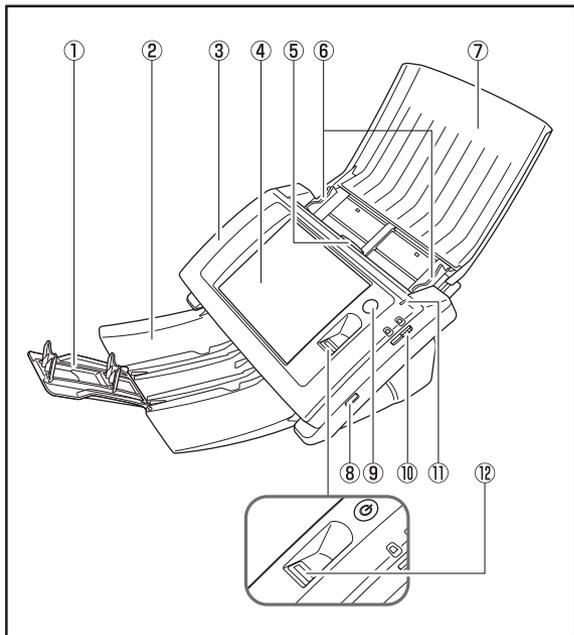
□ 廃棄について

- 本機を廃棄する前に、初期化を行って登録したデータを必ず消去してください。

2. 各部の名称と機能

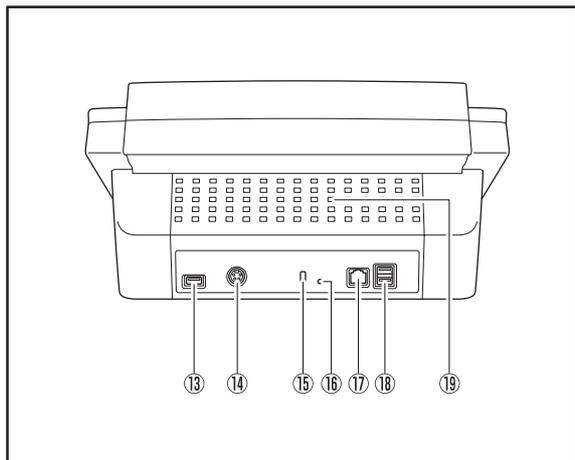
ScanFront 300/300P の各部の名称と機能は以下のとおりです。

□ 前面、給排紙トレイ



- ① 補助トレイ
スキャンした原稿が飛散するようなときに開きます。
- ② 排紙トレイ
ScanFront を使用するときを開きます。排紙トレイの上で原稿が丸まってしまうようなときは排紙トレイを取り外して使用します。(→ P.2-3)
- ③ パネルユニット
紙詰まりやメンテナンスの際に開きます。(→ P.2-9)
- ④ タッチパネル
画面に触れて ScanFront を操作します。
- ⑤ ロックレバー
パネルユニットをロックし、レバーを手前に引くとパネルユニットのロックが解除されます。(→ P.2-9)
- ⑥ 原稿ガイド
原稿の幅に合わせて位置を調整します。(→ P.2-5)
- ⑦ 給紙トレイ
原稿をセットします。(→ P.2-3)
- ⑧ USB ポート (側面)
USB 1.1/Hi-Speed USB 2.0 に対応した USB メモリまたは USB キーボード、USB マウスを接続します。
- ⑨ 電源スイッチ
電源をオンにします。(→ P.3-3)
* 電源をオフにするときはパネルに表示されている「電源オフ」ボタンで電源をオフにします。
- ⑩ 給紙切り替えレバー
原稿の給紙方法を切り替えます。(→ P.2-4)
- ⑪ 電源ランプ
電源がオンになると点灯します。(→ P.3-3)
- ⑫ 指紋認証センサー (ScanFront 300P のみ)
指紋を登録、認証するための指紋センサーです。(→ P.2-10)

□ 側面、背面



- ⑬ USB ポート (背面、左)
USB1.1/Hi-Speed USB2.0 に対応した USB メモリまたは USB キーボード、USB マウスを接続します。
- ⑭ 電源コネクタ (DC24V)
付属の AC アダプターのプラグを接続します。
- ⑮ ケンジントンスロット
盗難防止用のスロットで、市販のキーチェーンなどを接続して盗難から防止します。
- ⑯ サービス用スイッチ
サービス用のスイッチです。この穴には何も差し込まないでください。
- ⑰ LAN ポート (RJ-45)
RJ-45(10Base-T/100Base-TX) に対応したネットワークケーブルを接続します。
- ⑱ USB ポート (背面、右)
USB1.1/Hi-Speed USB2.0 に対応した USB メモリまたは USB キーボード、USB マウスを接続します。
- ⑲ 通気孔

第2章 ScanFront の取り扱い

1. 原稿について	2-2
普通紙	2-2
名刺	2-2
カード	2-2
2. スキャナーの準備	2-3
給紙トレイ、排紙トレイの準備	2-3
給紙切り替えレバー	2-4
USB ポートについて	2-4
3. 原稿のセット	2-5
原稿のセット	2-5
半折り原稿のセット	2-6
長尺紙のセット	2-6
カードのセット	2-7
4. 紙詰まりや重送を検知したときの処理	2-8
5. 指紋センサーについて	2-10
(ScanFront 300P)	2-10
指紋センサーの取り扱い上の注意	2-10
指紋認証について	2-10

1. 原稿について

ScanFront は、名刺などの大きさのものから、A4 サイズまでの原稿をスキャンすることができます。搬送できる原稿は、給紙方法によって以下のサイズ、紙厚の原稿が使用できます。

□ 普通紙

サイズ

幅 : 50.8 ~ 216mm

長さ : 53.9 ~ 355.6mm

(長尺紙のスキャン時は最大 1000mm)

紙厚 (分離 ON の場合)

52 ~ 209g/m² (0.06 ~ 0.25mm)

紙厚 (分離 OFF の場合)

40 ~ 209g/m² (0.05 ~ 0.25mm)

❗ 重要

読み取る原稿には一定の基準があります。次の項目をよくお読みください。

- 複数枚の原稿を一度に読み取る時は、原稿のサイズ、厚さ、紙質をそろえてください。異なる条件の原稿を給紙すると、紙詰まりの原因になります。
- インクが乾いていない原稿は、ローラーや読み取りガラスを汚し、画像にすじが入る原因になったり、他の原稿を汚す原因になります。必ず乾かしてから読み取りを行ってください。
- 鉛筆などで書かれた原稿は、ローラーや読み取りガラスを汚し、画像にすじが入る原因になったり、他の原稿を汚す原因になります。このような原稿を読み取ったあとは、スキャナの内部を清掃してください。
- 薄い紙の両面原稿を読み取る場合、読み取ったときに裏写りすることがあります。あらかじめアプリケーションソフトウェアで読み取る明るさを調整してから実行してください。

- 次のような原稿を読み取ろうとすると、紙詰まりや故障の原因になりますのでご注意ください。このような原稿を読み込むときは、複写機でコピーしてから行ってください。



しわや折り目が入っている



カーボン紙



カール(巻き付け)がある



表面がコーティングされている



破れている



半透明の薄紙など極端に薄い



クリップやステイプルの針が付いている



四角いとじ穴がある

□ 名刺

サイズ

幅 50.8 mm × 長さ 53.9mm 以上

紙厚

300g/m² (0.35mm) 以下

❗ 重要

- 名刺の束をセットして正常に搬送できない場合は、セットする名刺の枚数を減らしてください。
- 名刺のサイズや厚さ、セットする方向によっては排紙時の積載順が狂うことがあります。

□ カード

サイズ

53.9 × 85.5mm (ISO/JIS 規格準拠)

カード厚

0.76mm 以下

❗ 重要

- カードは 1 枚ずつ挿入してください。
- カードの挿入時は、カードが損傷しないように充分注意してください。

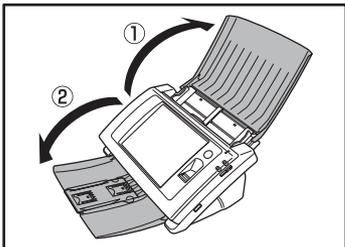
2. スキャナーの準備

原稿をセットするときは、スキャンする原稿のサイズに合わせて排紙トレイを引き出し、原稿の給紙方法（分離 ON/OFF）に合わせて給紙切り替えレバーの位置を切り替えます。

□ 給紙トレイ、排紙トレイの準備

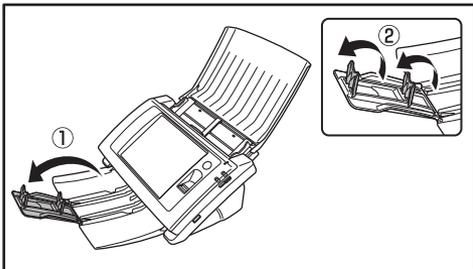
スキャンする原稿に合わせてトレイを準備します。

1. 給紙トレイを開きます ①。
2. 排紙トレイを開きます ②。



💡 ヒント

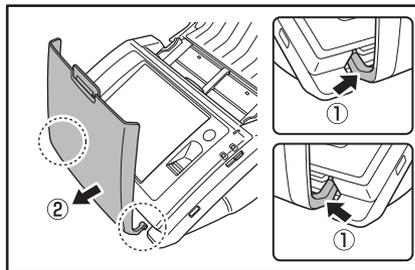
排紙された原稿が飛散するようときは中央の補助トレイを開きます。



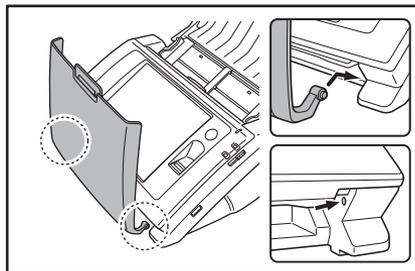
💡 ヒント

薄い原稿をスキャンしたときなど、排紙された原稿が排紙トレイの上で丸まってしまうようときは、排紙トレイを取り外して使用してください。

排紙トレイを取り外すときは、排紙トレイの矢印部を両側から押し込んで①、取り外します②。



排紙トレイを取り付けるときは、排紙トレイの両側の凸部を本体の穴に差し込んで取り付けます。



排紙トレイを取り付けたあとは、排紙トレイが外れないことを確認してください。

□ 給紙切り替えレバー

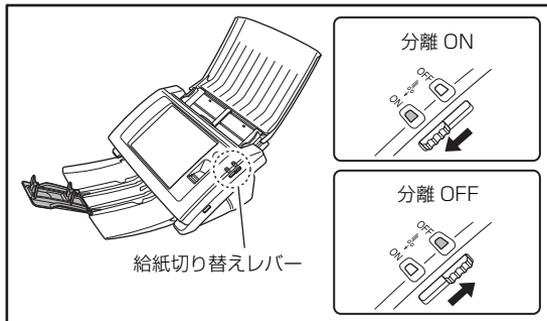
原稿の給紙方法に合わせてレバーの位置を変更します。

分離 ON

原稿の束を 1 枚ずつ分離させて連続給紙するときはレバーを下にします。

分離 OFF

複数枚綴りの伝票などを 1 枚ずつに分離しないで給紙するときはレバーを上にしたまま。

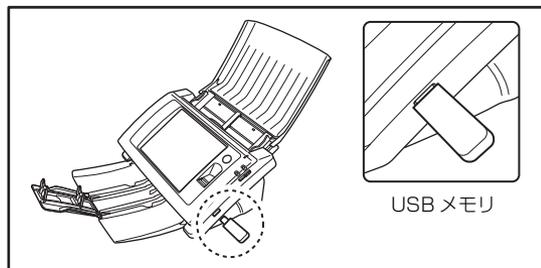


❗ 重要

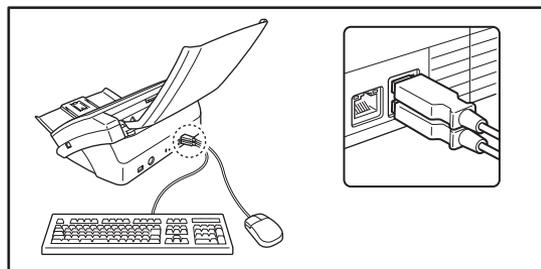
レバーを上（分離 OFF）にして原稿の束をスキャンすると、数枚まとめて搬送されます。

□ USB ポートについて

USB ポートには、画像ファイルを保存するための USB メモリを挿入できます。



また、USBキーボード、USBマウスを接続してScanFrontを操作することもできます。



❗ 重要

- USBメモリを挿入したまま電源をオンにした場合、ScanFrontを起動できません。USBメモリの挿入は、ScanFrontが起動している状態のときに行ってください。
- USBメモリは、書き込みが保護されていないUSBメモリをお使いください。USBメモリへの書き込みが保護されている場合、USBメモリへの書き込みができません。
- パスワードによるセキュリティ機能やデータ暗号化機能など、データ記録以外の機能が搭載されたUSBメモリには対応していません。
- USBメモリには、画像を保存するための空き容量を十分確保してください。

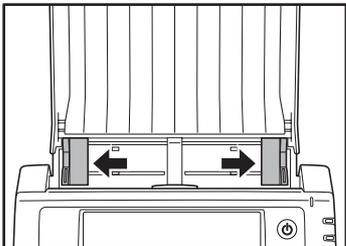
3. 原稿のセット

ScanFront に原稿をセットするときは原稿を裏返し、上端を下にしてセットします。

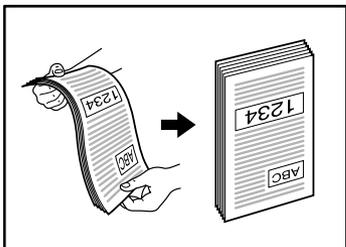
□ 原稿のセット

原稿を、以下の手順でセットします。

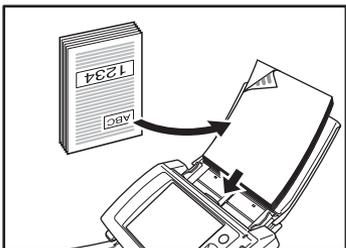
1. 原稿ガイドの位置を原稿の幅より広くします。



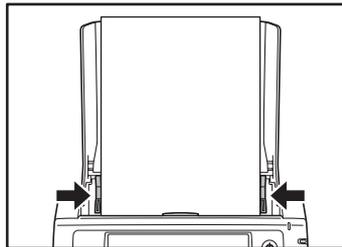
2. 原稿をよくさばき、先頭ページの上端が一番低くなるようにずらしておきます。



3. 原稿を裏返し、上端を下にしてセットします。

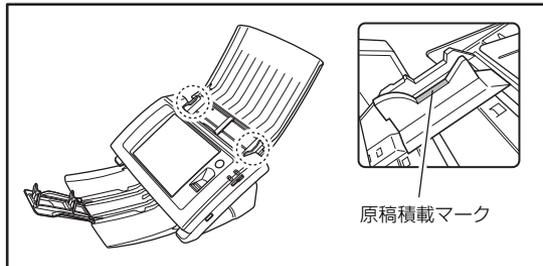


4. 原稿ガイドを原稿の幅に合わせてます。



❗ 重要

給紙トレイにセットする原稿の厚さが、原稿ガイドを超えないようにしてください。



一度にセットできる原稿の厚さは、原稿の用紙サイズごとに次のようになります。

A4 またはレターサイズ以下の原稿：

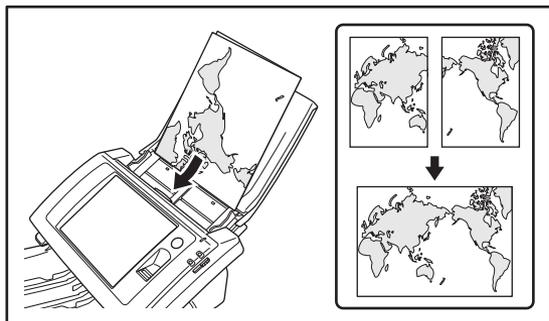
50 枚（または、厚さ 5 mm）以下

A4 またはレターサイズを超える大きさの原稿：

30 枚（または、厚さ 3 mm）以下

□ 半折り原稿のセット

給紙口にセットすることができない A4 サイズより大きい原稿（最大 A3 サイズ）を読み取る方法として「半折りスキャン」があります。半折りスキャンでは、原稿を半折りにしてセットし、半折り原稿の両面を読み取ってできた表裏の画像を 1 つの画像に合成します。



❗ 重要

- 原稿を折るときは、原稿の左右の端を揃えて、折り目をしっかり付けてください。原稿の折り方によっては、紙づまりや画像のズレの原因になります。
- 折り目の部分は、画像の一部が欠落します。折り目に文字や写真などがある原稿をスキャンするときは注意してください。
- 半折り原稿は分離 OFF でスキャンします。原稿は 1 枚ずつセットしてください。
- 原稿ガイドは原稿の幅に合わせてください。原稿ガイドの位置が広がっていると斜行、画像のズレの原因になります。

💡 ヒント

- 半折り原稿をスキャンする場合は、給紙切り替えレバーを「分離 OFF」に切り替えます。（→ P.2-4）
- 半折り原稿をセットするときは、折り目を右側にして本機にセットします。半折り原稿の手前になる面の画像が、合成された画像の右半分になります。
- 半折り原稿をスキャンする場合は、スキャン時に【読み取り面】の設定を【半折り】にしてください。
- 合成される画像は最大 A3 サイズの画像です。非定形サイズの原稿を半折りスキャンする場合は、スキャン時に【用紙サイズ】の設定を【自動サイズ】にしてください。
- 半折り原稿をスキャンするときは、【解像度】の設定を【300dpi】以下に設定してください。
- 半折り原稿をスキャンするときは、超音波重送検知は使用できません。

□ 長尺紙のセット

長さ 1000 mm までの長尺紙をセットしてスキャンできます。

❗ 重要

- 長尺紙をスキャンするときは、スキャン時に【原稿サイズ】の設定を【自動サイズ（長尺）】にしてください。
- 長尺紙をスキャンするときは、スキャン時に【解像度】の設定を【200dpi】以下にしてください。
- 長尺紙をスキャンするときは、【読み取り面】を【半折り】に設定することはできません。

□ カードのセット

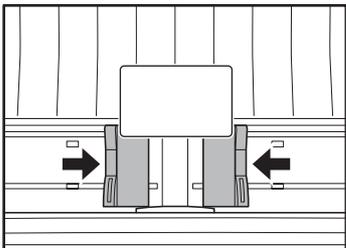
カードをスキャンするときは、以下の手順でセットします。

1. 給紙切り替えレバーを上（分離 OFF）にします。

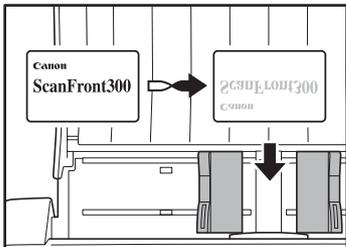
❗ 重要

カードをスキャンするときは給紙切り替えレバーを分離 OFF の位置にして、必ず 1 枚ずつスキャンしてください。

2. 原稿ガイドの位置をカードの横幅に合わせます。

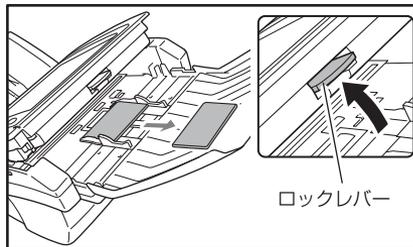


3. カードを裏返し、上端を下にしてセットします。



⚠ 注意

- カードを縦方向にセットすると、搬送時にカードに負荷がかかり正常に排出されない場合があります。さらに、エラーになったカードを取り除く際に、カードを損傷することもあるのでカードの挿入には十分注意してください。
- セットしたカードを取り除くときはロックレバーを引き、パネルユニットを開いてから取り除いてください。パネルユニットを閉じた状態で指を差し込むとけがをする原因になります。



4. 紙詰まりや重送を検知したときの処理

紙詰まりや重送を検知したときは、搬送を停止し、スキャンを中断します。

1. 表示されたメッセージを確認します。

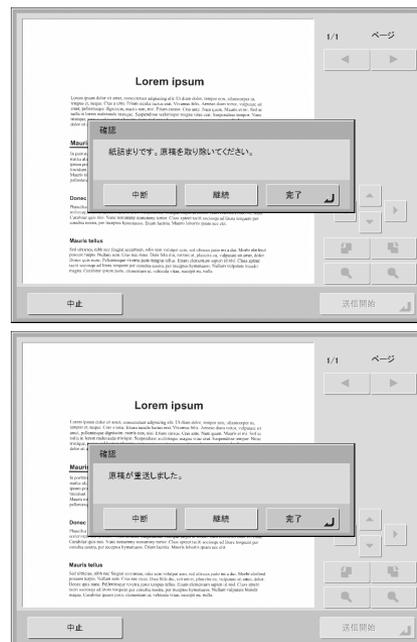
1枚目の原稿で紙詰まりや重送を検知したときは、以下のメッセージが表示されます。



ヒント

- スキャンを継続する場合は、画面を操作する前に原稿をセットし直してください。[継続]を押すとスキャンが再開されます。
- [完了]を押すと、前画面に戻ります。

スキャンの途中で紙詰まりや重送を検知したときは、以下のメッセージが表示されます。



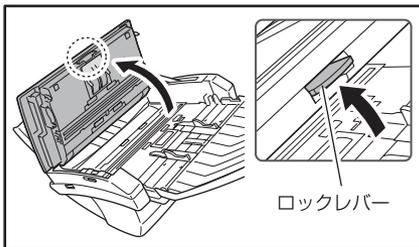
ヒント

- スキャンを継続するときは画面に触れずに原稿の処理を行います。原稿をセットし直してから[継続]を押すとスキャンを再開します。
- [完了]を押すと、紙詰まりや重送を検知する前にスキャンした画像を保存して、送信画面になります。
- [中止]を押すと、スキャンした画像を破棄して前画面に戻ります。

重要

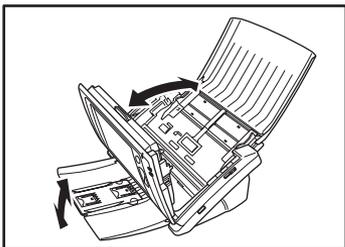
上記のメッセージが表示されているとき ScanFront が「ローバーモード」に移行すると、それまでにスキャンしたデータがすべて破棄されます。(→ P.3-3)

2. スキャンした原稿と、給紙トレイに残っている原稿を取り除きます。
3. ロックレバーを手前に引いて、パネルユニットを止まるどころまで開きます。

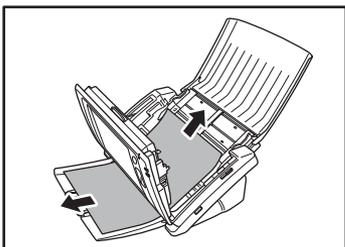


⚠ 注意

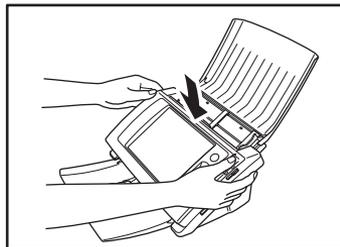
パネルユニットの開閉に連動して排紙トレイが上下します。パネルユニットを開くときは、排紙トレイを押さえないでください。



4. 詰まっている原稿を取り出しやすい方向から引き出します。



5. パネルユニットを元に戻し、原稿をセットし直します。



6. [継続] ボタンを押して、スキャンを再開します。

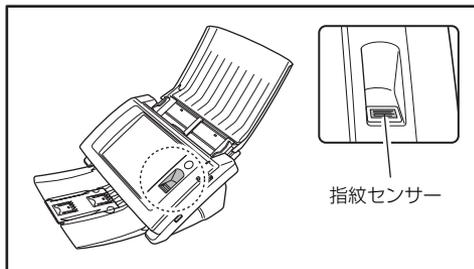
⚠ 重要

- 重送が繰り返し起きるようなときは、セットする原稿の枚数を10枚程度に減らしてください。
- 紙詰まりや重送が起きる原因として、静電気による原稿の密着、搬送ローラーの汚れや磨耗が原因になっている場合があります。搬送ローラーが汚れているときは、ローラーの清掃を行い、ローラーを清掃しても紙詰まりや重送が起きるようなときは、交換ローラーキットをお買い求めになり、搬送ローラー（フィードローラー、リタードローラー）と原稿押さえガイドを交換してください。

5. 指紋センサーについて (ScanFront 300P)

ScanFront 300Pには、指紋を登録してユーザ認証を行うための指紋センサーが搭載されています。指紋センサーは精密部品です。扱いには十分注意してください。

□ 指紋センサーの取り扱い上の注意

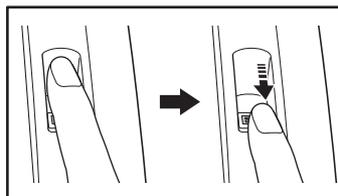


- 以下のような場合、指紋センサーの故障および破損の原因になることがあるので注意してください。
 - 指紋センサーにものを落としたり、強い衝撃を与えたりする
 - 指紋センサーの表面をひっかいたり、先のとがったものでつついたりする
 - 指紋センサーに爪や金具など硬いものを押し付ける
 - 汚れた手で指紋センサーに触れる
 - 指紋センサーの表面にシールを貼ったり、インクなどで塗りつぶしたりする
- 指紋認証の失敗が多発するようなときは、指紋センサーの汚れが原因になっていることが考えられます。定期的に指紋センサーの表面を清掃してください。
- 指紋センサーを清掃する際は、乾いたやわらかい布で表面の汚れを取り除いてください。
- 指紋センサーの周りにゴミがたまっような場合でも、先のとがったものは使用しないでください。指紋センサーの故障の原因になります。

- 静電気を帯びた状態で指紋センサーに触れると、指紋センサーおよび本体の故障の原因となる場合があります。指紋センサーに触れる前に金属に触れるなどして静電気を除去してください。特に冬季など乾燥により静電気を帯びやすい時期は、特に注意してください。

□ 指紋認証について

- 指紋登録および認証は、以下の手順で行います。
 1. 指の第1関節をセンサーの位置に合わせ、指を指紋センサーに押し付けます。
 2. 指を押し付けたまま一定速度でゆっくり、まっすぐスライドさせて指紋を読み取ります。



- 指紋認証は、指紋の固有情報を認証に利用するものです。指紋が磨耗している場合など指紋の特長がすくない指の場合、指紋認証機能が正常に機能しないことがあります。
- 指紋の登録には同じ指で3回の読み取りが必要です。
- 指紋の認証は、登録時と認証時の指紋の状態によって認証性能が異なり、以下のようなときは認証性能が低下します。
 - 指が濡れている / 汗をかいている
 - 指が汚れている
 - 汗や油で指紋の溝が埋まっている
 - 指が乾燥している (乾燥肌)
 - 傷や火傷などで指紋の一部が欠けている
 - 指紋が磨耗して薄くなっている

- 手を洗ったり、クリームを塗るなどして指紋の状態を変更することによって、認証性能が改善されることがあります。
- スライドの早さによっては正常に認証できないことがあります。メッセージに従ってスライドの早さを調整してください。
- 指紋認証は本人の認証、照合を保証するものではありません。

ヒント

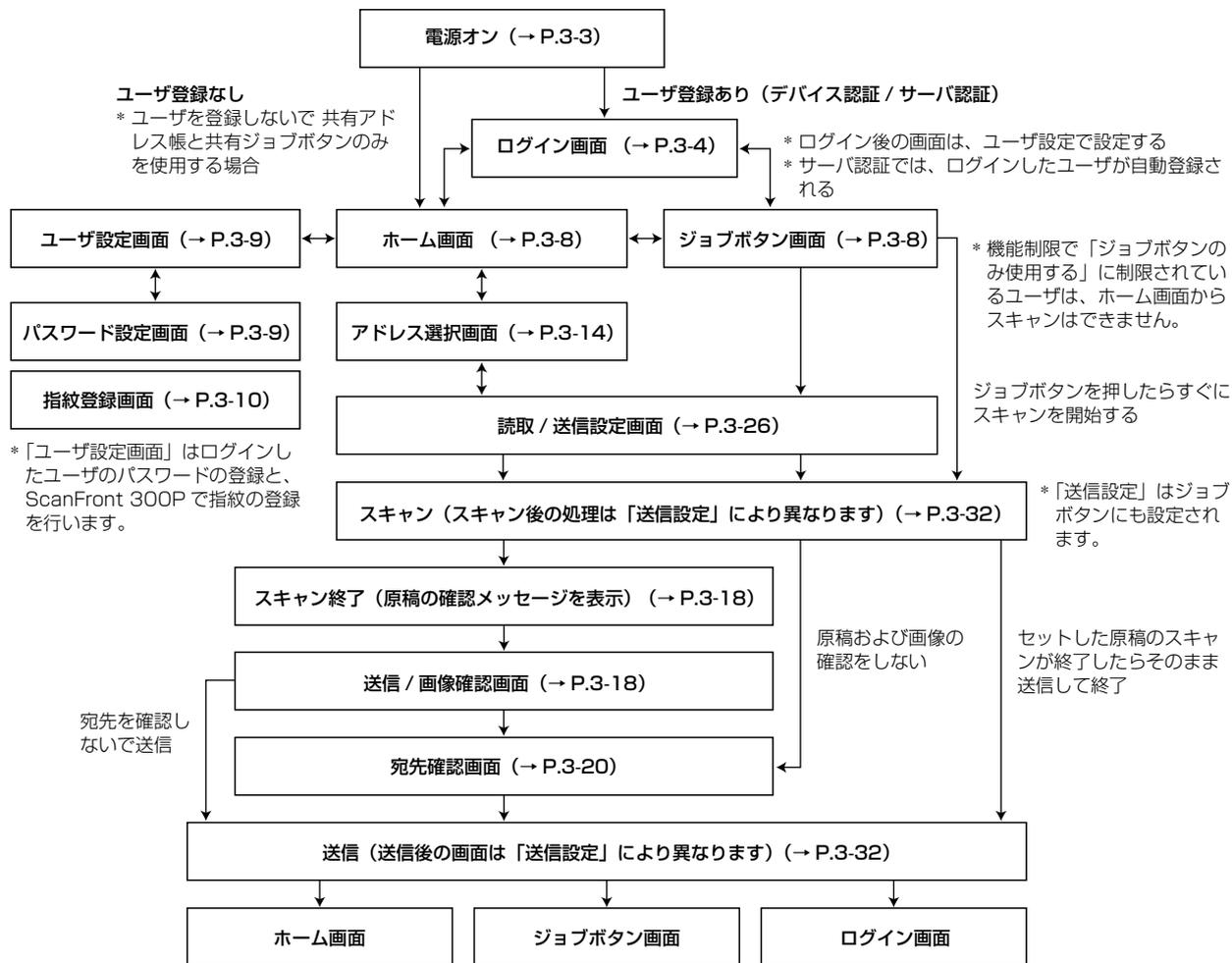
指紋の登録、認証の手順については、第3章「ScanFrontの使用
方法」(→ P.3-1)を参照してください。

第 3 章 ScanFront の使用方法

1. 送信までの流れ.....	3-2	7. スキャンの手順について.....	3-12
2. 電源のオン / オフ.....	3-3	ホーム画面からのスキャン.....	3-12
電源のオン.....	3-3	ジョブボタン画面からのスキャン.....	3-13
電源のオフ.....	3-3	アドレス選択画面について.....	3-14
3. ログイン画面について.....	3-4	USB メモリ画面について.....	3-15
ログイン画面のタイプ.....	3-4	プリンタ画面について.....	3-16
サーバ認証を使用する場合.....	3-4	スキャン.....	3-17
「リスト選択型」ログイン画面.....	3-5	8. 宛先の登録と編集.....	3-21
「文字入力型」ログイン画面.....	3-6	宛先の新規登録.....	3-21
「指紋認証」(ScanFront 300P のみ).....	3-7	宛先の変更.....	3-24
4. ログイン後の画面について.....	3-8	宛先のコピー.....	3-24
ホーム画面.....	3-8	9. 読取 / 送信設定.....	3-26
ジョブボタン画面.....	3-8	スキャン設定.....	3-27
5. ユーザ設定画面.....	3-9	ファイル形式.....	3-31
パスワード変更.....	3-9	PDF ファイルのセキュリティ設定.....	3-32
指紋登録.....	3-9	送信設定.....	3-32
6. 指紋の登録 (ScanFront 300P).....	3-10		
指紋の登録・認証について.....	3-10		
指紋の登録.....	3-10		

1. 送信までの流れ

ScanFront の電源をオンにしてから画像ファイルを送信するまでの手順および画面の推移は、ユーザやジョブボタンの設定によって以下ようになります。詳細についてはそれぞれの参照ページを参照してください。

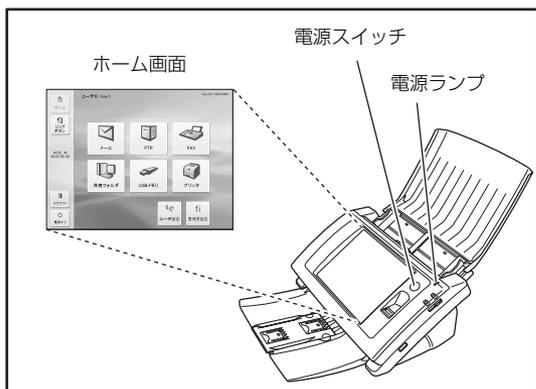


2. 電源のオン / オフ

ScanFront の電源は、ScanFront 本体の「電源スイッチ」でオンにし、操作パネルに表示されている「電源オフ」ボタンで電源をオフにします。

□ 電源のオン

電源スイッチを押して、ScanFront の電源をオンにします。電源ランプが点灯し、ホーム画面またはログイン画面が表示されます。



💡 ヒント

- 電源スイッチをオンにしてからホーム画面が表示されるまで約 40 秒かかります。
- ユーザが登録されているときは、ログイン画面が表示されます。(→ P.3-4 「ログイン画面について」)
- 電源ランプが点灯した状態でパネルが表示されていないときは、ディスプレイオフモードによりパネルの表示がオフになっています。このようなときは、パネルを押すことによりディスプレイオフモードから復帰します。
- 電源ランプが点滅した状態でパネルが表示されていないときは、ローパワーモードにより ScanFront の動作が停止しています。ローパワーモードから復帰するには、電源スイッチまたはタッチパネルを押します。
- 「ディスプレイオフモード」、「ローパワーモード」の設定については管理者にお問い合わせください。

□ 電源のオフ

パネル左下にある「電源オフ」ボタンを押して電源をオフにします。



❗ 重要

- ScanFront の電源を入れ直すときは、電源をオフした後、約 5 秒間待ってから電源をオンにしてください。
- ScanFront が動作しなくなったときは、電源スイッチを長押しすることにより、システムがシャットダウンされます。この場合、直前に設定していた内容が破棄されます。

3. ログイン画面について

ScanFront の電源をオンにするとログイン画面で起動します。

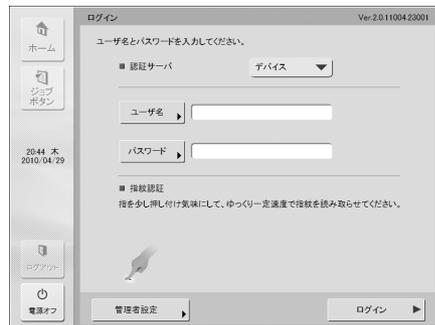
□ ログイン画面のタイプ

ログイン画面には、登録されているユーザを一覧から選択する「リスト選択型」と、ユーザ名とパスワードを入力する「文字入力型」の2種類のログイン画面があります。

「リスト選択型」ログイン画面



「文字入力型」ログイン画面



💡 ヒント

- ログイン画面のタイプは、Web メニューの「デバイス動作設定」(→取扱説明書 P.6-30) または、ScanFront 本体の管理者設定「ログインタイプ選択」(→取扱説明書 P.3-10) で設定します。
- 指紋認証は、ScanFront300Pを使用している場合に有効になります。(→ P.3-7 「指紋認証」(ScanFront 300Pのみ))

□ サーバ認証を使用する場合

サーバ認証を使用する場合のログイン画面は「文字入力型」で「デバイス認証」と「サーバ認証」を選択するためのリストボックスが有効になります。



❗ 重要

サーバ認証でログインすると、サーバ認証のユーザとして新規登録されます。

□ 「リスト選択型」 ログイン画面

「リスト選択型」ログイン画面では以下の手順でログインします。

1. ログインするユーザを選択して [次へ] を押します。



パスワード入力画面になります。

2. [パスワード] を押します。



キーボード画面になります。

3. [パスワード] を入力して [OK] を押します。



❗ 重要

「パスワード」は登録されている大文字、小文字を正確に入力しないとログインできません。

4. [ログイン] を押して ScanFront にログインします。

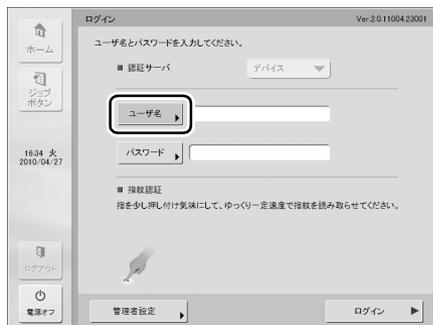


5. ホーム画面（またはジョブボタン画面）になります。

□ 「文字入力型」 ログイン画面

「文字入力型」ログイン画面では「ユーザ名」と「パスワード」を入力してログインします。

1. 「ユーザ名」(「パスワード」) を押します。



キーボード画面になります。

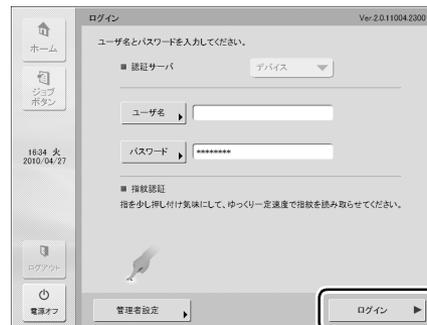
2. 「ユーザ名」(「パスワード」) を入力して [OK] を押します。



❗ 重要

- デバイス認証で入力する「ユーザ名」と「パスワード」は登録されている大文字、小文字を正確に入力しないとログインできません。
- サーバ認証で入力する「ユーザ名」と「パスワード」についてはドメインサーバの管理者にお問い合わせください。

3. [ログイン] を押して ScanFront にログインします。



4. ホーム画面 (またはジョブボタン画面) になります。

□ 「指紋認証」 (ScanFront 300P のみ)

指紋認証によるログインは以下の手順で行います。
指紋の登録については「指紋の登録 (ScanFront 300P)」
(→ P.3-10) を参照してください。

1. 指紋を登録した指で指紋認証を行います。



❗ 重要

指紋認証は、指を押し付け気味にして、ゆっくり一定速度で指紋を読み取らせてください。

2. 指紋が正しく認証されると、ホーム画面（またはジョブボタン画面）になります。

💡 ヒント

- 指紋認証に失敗した場合は、画面上に原因と対処方法が表示されます。対処方法を読み、指紋認証をやり直してください。



- サーバ認証でログインするユーザの指紋を登録し、その指紋の認証でログインしているときに、サーバでそのユーザのパスワードが変更された場合、次のようなメッセージが画面上に表示されます。この場合は、指紋認証を使用せずにユーザ名と変更後のパスワードを入力してログインしてから、指紋を登録し直してください。



4. ログイン後の画面について

ユーザがログインしたあとに表示される画面（「ホーム画面」または「ジョブボタン画面」）は、ユーザ設定の「デバイスのログイン後の画面」で設定した画面になります。（→ P.4-4）

□ ホーム画面



- ① 宛先選択ボタン（メール、FTP、共有フォルダ、USBメモリ、プリンタ）
「アドレス選択」画面を開きます。（→ P.3-12 「スキャンの手順について」）

💡 ヒント

- 「USBメモリ」は、USBポートにUSBメモリを挿入すると有効になります。
 - 「プリンタ」は、ScanFront Service が導入されているネットワーク環境にScanFrontを接続している場合に有効になります。
- ② 「ユーザー設定」ボタン
ユーザパスワードの設定と指紋登録（ScanFront300Pのみ）を行います。（→ P.3-9 「ユーザー設定画面」）
- ③ 「管理者設定」ボタン
管理者が設定するための「管理者設定」画面を開きます。

❗ 重要

ホーム画面の使用が制限されているユーザがログインしたときは、ホーム画面が使用できません。詳細については管理者にお問い合わせください。

□ ジョブボタン画面

ジョブボタンを選択し、ジョブボタンに登録されている条件でスキャン、送信を実行します。（→ P.3-12 「スキャンの手順について」）



❗ 重要

- ジョブボタンでスキャンするときは、ジョブボタンを押す前に原稿をセットしてください。（→ P.2-5 「原稿のセット」）
- ジョブボタンの登録、編集は、Webメニューで行います。
- ジョブボタンの編集ができないときは、管理者によりジョブボタンの編集が制限されています。詳細については管理者にお問い合わせください。

5. ユーザ設定画面

ユーザ設定画面では、ユーザパスワードの変更と、指紋の登録（ScanFront 300P のみ）を行います。



□ パスワード変更

パスワード変更は、ユーザパスワードの新規登録または、Web メニューで登録したユーザパスワードの変更を行うためのものです。



💡 ヒント

パスワードの変更に旧パスワードの入力は必要ありません。入力した新しいパスワードが登録されます。

□ 指紋登録

指紋登録は ScanFront 300P をお使いの場合に有効です。指紋登録の詳細については次項「指紋の登録（ScanFront 300P）」（→ P.3-10）を参照してください。

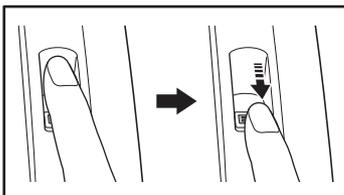


6. 指紋の登録 (ScanFront 300P)

指紋認証は、デバイス認証またはサーバ認証でログインするユーザの指紋を登録し、ログイン時に指紋認証のみでログインするための機能です。指紋認証を使用する場合、「リスト型ログイン」画面のユーザの選択や「文字入力型」ログイン画面でのユーザ名とパスワードの入力が不要になります。指紋センサーの取り扱いについては第 2 章「指紋センサーについて (ScanFront 300P)」(→ P.2-10) を参照してください。

□ 指紋の登録・認証について

- 指紋登録および認証は、以下の手順で行います。
 1. 指の第 1 関節をセンサーの位置に合わせ、指を指紋センサーに押し付けます。
 2. 指を押し付け気味にして、ゆっくり一定速度で指紋を読み取らせてください。



- 指紋認証は、指紋の固有情報を認証に利用するものです。指紋が磨耗している場合など指紋の特長が少ない指の場合、指紋認証機能が正常に機能しないことがあります。
- 指紋の登録には同じ指で 3 回の読み取りが必要です。
- 指紋の認証は、登録時と認証時の指紋の状態によって認証性能が異なり、以下のようなときは認証性能が低下します。
 - 指が濡れている / 汗をかいている
 - 指が汚れている
 - 汗や油で指紋の溝が埋まっている
 - 指が乾燥している (乾燥肌)
 - 傷や火傷などで指紋の一部が欠けている
 - 指紋が磨耗して薄くなっている
- 手を洗ったり、クリームを塗るなどして指紋の状態を変更することによって、認証性能が改善されることがあります。

- スライドの早さによっては正常に認証できないことがあります。メッセージに従ってスライドの早さを調整してください。
- 指紋認証は本人の認証、照合を保証するものではありません。

□ 指紋の登録

指紋の登録はホーム画面にある「ユーザ設定」画面で行います。

❗ 重要

ホーム画面が表示されないユーザは、管理者によってホーム画面の使用が制限されています。管理者に確認してください。

1. [ユーザ設定] を押します。



ユーザ設定画面になります。

2. [指紋登録] を押します。



指紋登録画面になります。

3. 指紋の読み取りを行います。

指紋の読み取りは同じ指で3回成功するまで行います。



❗ 重要

- 以下のメッセージが表示されたときは、指紋の読み取りエラーです。そのまま指紋の登録を続けてください。
 - 正しく読み取られませんでした。もう一度指紋を読みとらせてください。
 - 速度が速いようです。もう少しゆっくり指紋を読みとらせてください。
 - 速度が遅いようです。もう少し素早く指紋を読みとらせてください。

- 以下のメッセージが表示されたときは、指紋の登録を最初からやり直してください。
 - 指紋データが一致しませんでした。はじめから登録しなおしてください。
 - タイムアウトエラーです。はじめから登録しなおしてください。

4. 指紋の読み取りが3回成功したら[登録/テスト]を押して登録した指紋の認証テストを行います。



テストモード画面になります。

5. 登録した指紋の確認テストを行います。



6. [閉じる] を押して指紋登録を終了します。

❗ 重要

登録した指紋を変更するときは、指紋登録を最初からやり直します。

7. スキャンの手順について

ScanFront のスキャンは、「ホーム画面」または「ジョブボタン画面」から行います。(→ P.3-8 「ログイン後の画面について」)

□ ホーム画面からのスキャン

宛先選択ボタン（メール、FTP、FAX、共有フォルダー）を押すとアドレス選択画面が表示され、送信する宛先を選択します。



宛先選択ボタンで「USB メモリ」を押したときは、[下へ]を押してUSBメモリに保存するフォルダーを指定します。



宛先選択ボタンで「プリンタ」を押したときは、印刷設定を行います。

❗ 重要

ScanFront Service が導入されていないネットワーク環境で ScanFront を使用しているときは、「プリンタ」はグレー表示され、押しして選択することはできません。



宛先を選択し、[次へ] を押すと「読取 / 送信設定」画面が表示され、読取条件を設定してからスキャンを行います。

□ ジョブボタン画面からのスキャン

ジョブボタンを押すと、「読取 / 送信設定」画面が表示され、ジョブボタンに登録されている宛先と読取設定を確認してからスキャンを行います。

スキャンの手順については手順5のスキャン条件の設定からお読みください。



❗ 重要

- 設定画面の表示やスキャン後に表示される画面についてはジョブボタンの設定によって変わります。設定から送信までの全体の流れについては「送信までの流れ」(→ P.3-2)を参照してください。
- ジョブボタンから画像ファイルをUSBメモリに保存したり、プリンタに送信して印刷することはできません。

□ アドレス選択画面について

アドレス選択画面では、送信する宛先の選択と、宛先の登録を行います。



① アドレス帳の種類

アドレス帳の種類（共有アドレス帳、マイアドレス帳）を選択します。アドレス帳サーバの設定が有効になっているときは、[LDAP アドレス帳] が追加されます。

② 宛先タイプ

宛先一覧に表示させる宛先のタイプ（メール、FAX、共有フォルダ、FTP、グループ）の選択と、選択されている宛先の表示を行います。

③ 宛先一覧

登録されている宛先の表示と、送信する宛先の選択を行います。

💡 ヒント

- 宛先は、宛先のタイプによって以下のアイコンで表示されます。
✉️：メール 📁：共有フォルダ 📠：FAX
📁：FTP 👤：グループ
- 宛先を押すとアイコンにチェックマーク (☑️) が付いて選択されます。選択されている宛先を再度押すと選択が解除されます。
- 宛先の背景に色が付いて選択されていても、アイコンにチェックマークがなければ宛先として選択されません。
- メールとグループのアイコンは、押すごとに送信条件 (To, CC, Bcc) が変わります。
✉️：To 📁：CC 📠：Bcc ☑️：選択解除

④ ジャンプキー



宛先の件数が多く、宛先一覧に表示されていないアドレスを表示させるときに使用し、指定したキーワードで宛先を検索して表示します。

💡 ヒント

ジャンプキーによる検索は、宛先の「ふりがな」で検索されます。

⑤ [全選択解除] ボタン

宛先の選択をすべて解除します。

⑥ [編集] ボタン

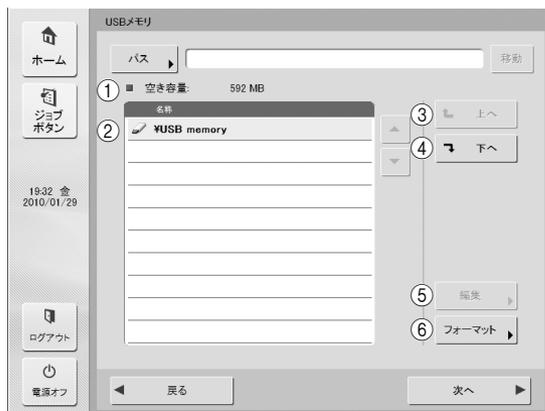
宛先の新規登録と編集を行います。

⑦ [詳細情報] ボタン

宛先の詳細情報を表示します。

□ USB メモリ画面について

USB メモリ画面では、USB メモリに保存するフォルダーを指定します。



① パス

USB メモリのフォルダーのパスを入力します。または、[下へ] を押してフォルダーを選択します。

② USB メモリ表示

挿入されている USB メモリを表示します。

💡 ヒント

- USB メモリを2本以上挿入したときは、2本目以降に番号が割り振られます。たとえば、1本目に挿入した USB メモリは「USB memory」と表示され、2本目に挿入した USB メモリは「USB memory2」と表示されます。



- USB メモリ画面を開いているときに USB メモリを挿入したり、USB メモリを差し替えたときは、[戻る] を押してホーム画面に戻り、USB メモリの情報を更新してくださいってから、USB メモリ画面を開き直してください。

③ [上へ] ボタン

USB メモリの下位フォルダーが選択されているとき、上位フォルダーに移動します。

④ [下へ] ボタン

USB メモリの下位フォルダーに移動します。

⑤ [編集] ボタン

フォルダーの新規登録、編集を行います。

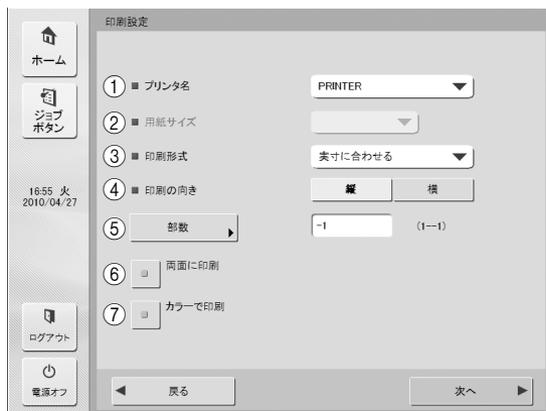


⑥ [フォーマット] ボタン

USB メモリをフォーマットします。

□ プリンタ画面について

プリンタ画面では、プリンタを指定したり、用紙サイズなどの印刷条件を設定します。



① プリンタ名

スキャン画像の印刷に使用するプリンタを選択します。ScanFront Service Server が使用可能なプリンタを選択できます。

② 用紙サイズ

用紙サイズを選択します。

③ 印刷形式

スキャン画像を用紙にどのように割り付けて印刷するかを指定します。

- 実寸に合わせる
元の原稿と同じ大きさでスキャン画像を印刷します。
- 用紙に合わせる
スキャン画像を用紙に収まる大きさに拡大または縮小して印刷します。
- 画素単位に合わせる
スキャン画像の解像度に従って印刷します。

④ 印刷の向き

[縦] または [横] を押して、印刷の向きを指定します。

⑤ 部数

印刷部数を指定します。

⑥ 両面に印刷

両面印刷を行う場合に、押してボタンを点灯させます。

⑦ カラーで印刷

カラー印刷を行う場合に、押してボタンを点灯させます。

❗ 重要

設定できる印刷条件は、プリンタによって異なります。プリンタが対応していない機能に関する設定項目を、ここで設定することはできません。

□ スキャン

スキャンの手順について説明します。
 USB メモリに保存する場合、手順 2 ～手順 4 では USB
 メモリに保存するフォルダーの指定を行います。(→
 P.3-15 「USB メモリ画面について」)

1. 宛先を選択します。

宛先ボタンを押して宛先を選択します。



「アドレス選択」画面が表示されます。



2. 「アドレス帳の種類」と「宛先タイプ」で送信する宛先を表示します。

3. 表示されている宛先を押して選択します。

選択した宛先のアイコンにチェックマーク (☑) が付きます。選択されている宛先を押すと選択が解除されます。



! 重要

宛先の背景に色が付いて選択されていても、チェックマークがなければ宛先として選択されていません。

4. 選択したアドレスにチェックマークがついていることを確認し、[次へ] を押します。

💡 ヒント

タイプの異なる宛先を選択しているときは、「宛先タイプ」の「選択中の宛先」で選択した宛先が確認できます。



「読取 / 送信設定」画面が表示されます。



5. スキャン条件を設定します。(→ P.3-26「読取/送信設定」)

重要

ジョブボタンでスキャンする場合、以降の手順は、ジョブボタンの設定によって以下ようになります。詳細については「ジョブボタンの新規登録」(→ P.4-17) を参照してください。

- 「ジョブボタンが選択された時の動作」が「読取設定画面をスキップする」に設定されている場合、ジョブボタンを押すと手順 4 の「読取/送信設定」画面を表示しないでスキャンが開始されます。
- 「スキャン後直ちに送信する」が [ON] に設定されている場合、手順 7 のスキャン継続の確認画面を表示しないでスキャンを終了し、手順 10 の宛先の確認画面になります。
- 「送信前のに宛先を確認する」が [OFF] に設定されている場合、手順 10 の宛先の確認画面を表示しないで画像を送信、終了します。

6. [スタート] を押してスキャンを開始します。 原稿がなくなるとスキャンを終了します。



重要

- 読取/送信設定画面の「送信設定」の設定で、「スキャン後直ちに送信する」が [ON] に設定されている場合、スキャン継続の確認画面を表示しないでスキャンを終了し、手順 10 の宛先の確認画面に進みます。
- 確認画面を表示させたま放置して ScanFront が「ローパワーモード」に移行すると、それまでにスキャンしたデータがすべて破棄されます。(→ P.3-3)

7. 原稿を確認して次へ進みます。



- [完了] を押すと、送信画面に移ります。
- [継続] を押すと、スキャンを再開します。
- [中止] を押すと、スキャンした画像を破棄して「読取/送信設定」画面に戻ります。

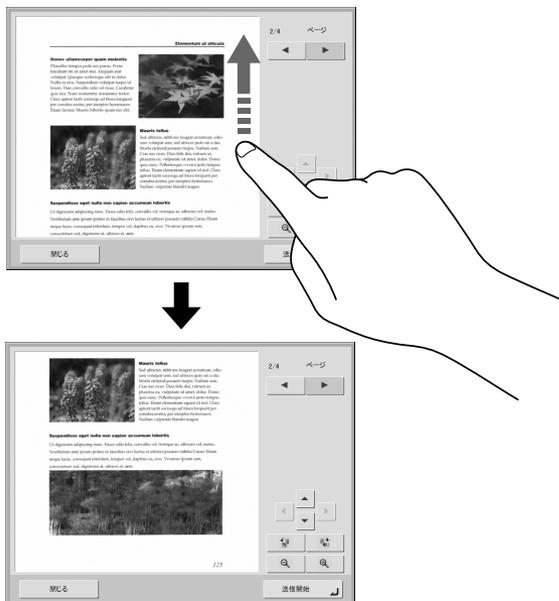
8. スキャンした画像を確認します。



-  : 次ページの画像を表示します。
-  : 前ページの画像を表示します。
-  : 拡大表示させた表示画像を移動します。
-  : 画像を反時計方向に 90 度回転します。
-  : 画像を時計方向に 90 度回転します。
-  : 画像を拡大します。
-  : 画像を縮小します。

ヒント

プレビュー画像を拡大表示しているときは、画像を指でドラッグしてスクロールできます。



9. [送信開始] を押します。



アドレスの確認メッセージが表示されます。



重要

読取 / 送信設定画面の「送信設定」の設定で、「送信前に宛先を確認する」が【オフ】に設定されている場合、宛先の確認画面を表示しないで画像を送信し、終了します。

10. [OK] を押してスキャンした画像を送信します。



! 重要

送信エラーが表示されたときは、宛先の設定および送信先を確認してからやり直してください。

11. 読取 / 送信設定画面の「送信設定」の設定で、「送信後の画面」で設定された画面に戻ります。

8. 宛先の登録と編集

送信する宛先がアドレス帳に登録されていないときや、登録されている宛先の情報が更新されていないときは、下の手順でアドレス帳の宛先の新規登録、変更を行います。

□ 宛先の新規登録

1. 「アドレス帳の種類」と「宛先タイプ」を選択し、[編集] - [新規登録] を押します。



2. 宛先タイプの設定条件に合わせて登録を行います。

「メール」登録画面

- 名称
アドレス帳に表示する名称を入力します。

- ふりがな
アドレス帳の表示をソートおよびジャンプキーで検索するためのふりがなを入力します。
- 電子メールアドレス
電子メールで送信するときの送信元のアドレスを入力します。

「共有フォルダ」登録画面

- 名称
アドレス帳に表示する名称を入力します。
- ふりがな
アドレス帳の表示をソートおよびジャンプキーで検索するためのふりがなを入力します。
- ホスト名
共有フォルダを公開しているコンピューター名を入力します。ScanFront Service を導入しているときは、ホスト名の代わりに IP アドレスを入力できます。
- フォルダへのパス
共有フォルダの名称と登録するサブフォルダのパスを入力します。

ヒント

サブフォルダーのパスが不明なときは以下の手順でサブフォルダーを指定します。

1. 「ホスト名」と「ユーザ名」、「パスワード」、「ドメイン」を入力してから [参照] ボタンをクリックし、共有フォルダーを公開しているコンピューターにアクセスします。

ただし、Windows 7 または Windows Server 2008 R2 がインストールされたコンピューターのサブフォルダーは、[参照] ボタンを押して参照することができません。この場合は、コンピューター名とその最上位のフォルダーまでのパスを [フォルダへのパス] に入力してから [参照] ボタンを押してください。

2. 表示されたフォルダーから任意のサブフォルダーを指定します。
3. 選択したフォルダーの直下の階層に移動するときは [下へ] を押してフォルダーを移動します。新しいフォルダーを作成するときは、[編集] - [新規フォルダ] で新しいフォルダーを作成します。

• ユーザ名、パスワード

共有フォルダーに書き込み権限のあるアカウントのユーザ名とパスワードを入力します。

• ドメイン / ワークグループ

共有フォルダーを公開しているコンピューターがドメインに参加している場合、ドメインを入力します。

• パスワード保存

入力したパスワードを保存します。

「FTP」登録画面



The screenshot shows a dialog box titled "FTP" with the following fields and controls:

- 名称**: Text input field.
- ふりがな**: Text input field.
- FTPサーバ**: Text input field.
- フォルダへのパス**: Text input field with a **参照** button to its right.
- ユーザ名**: Text input field.
- パスワード**: Text input field with a **パスワードを保存** checkbox to its right.
- ポート番号**: Text input field with "21" pre-filled.
- Buttons: **キャンセル** and **OK** at the bottom.

• 名称

アドレス帳に表示する名称を入力します。

• ふりがな

アドレス帳の表示をソートおよびジャンプキーで検索するためのふりがなを入力します。

• FTP サーバ

FTP サーバのアドレスを入力します。

• フォルダへのパス

FTP サーバのサブフォルダーを指定するときにサブフォルダーのパスを入力します。

ヒント

サブフォルダーのパスが不明なときは以下の手順でサブフォルダーを指定します。

1. 「FTP サーバ」と「ユーザ名」、「パスワード」を入力してから [参照] ボタンをクリックして FTP サーバにログインします。
2. 表示されたフォルダーの階層から任意のサブフォルダーを指定して [OK] をクリックします。

• ユーザ名 / パスワード

FTP サーバにログインするためのユーザ名とパスワードを入力します。

重要

ユーザ名とパスワードは、FTP サーバに書き込み権限のあるアカウントのユーザ名とパスワードを入力してください。

• ポート番号

ポート番号を入力します。標準のポート番号は 21 です。

• パスワード保存

入力したパスワードを保存します。

• パッシブモード

FTP サーバへの送信をパッシブモードで行います。

重要

パッシブモードは FTP サーバとの通信が正常できないときに使用します。ただし、ネットワークの状態によっては通信できない場合もあります。

「FAX」登録画面

- **名称**
アドレス帳に表示する名称を入力します。
- **ふりがな**
アドレス帳の表示をソートおよびジャンプキーで検索するためのふりがなを入力します。
- **FAX 番号**
送信先の FAX 番号を入力します。

「グループ」登録画面

- **名称**
アドレス帳に表示する名称を入力します。
- **ふりがな**
アドレス帳の表示をソートおよびジャンプキーで検索するためのふりがなを入力します。
- **[追加] ボタン**
「アドレス帳の種類」と「宛先タイプ」からグループに登録する宛先を選択します。選択した宛先がリストに表示されます。

❗ 重要

- 共有フォルダーをグループに追加する際、アクセス権の異なる共有フォルダーを1つのグループに複数追加しないでください。
- 共有サーバなど、アクセス権の異なる複数の共有フォルダーにグループで同時に送信した場合、送信エラーになることがあります。

□ 宛先の変更

宛先に登録されている送信先の情報が間違っている / 変更されていることによって送信エラーになるときは、宛先の変更を行います。

1. 変更する宛先を選択して [詳細情報] を押します。



宛先の詳細情報が表示されます。

2. 選択した宛先の [詳細情報] を確認します。
3. [編集] - [変更] を押します。



宛先の編集画面が表示されます。

4. 宛先を編集します。



ヒント

編集項目については「宛先の新規登録」(→ P.3-21) を参照してください。

□ 宛先のコピー

登録されている宛先を、コピーして使用します。
宛先のコピーは、「マイアドレス帳」と「共有アドレス帳」で交互にコピーすることができます。

1. コピーする宛先を選択します。
2. 宛先を選択し、[編集] - [コピー] を押します。



選択した宛先がメモリーにコピーされます。

3. コピー先のアドレス帳の種類を選択し、[編集] - [貼り付け] を押します。



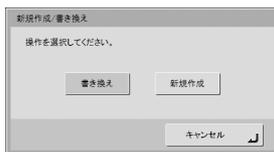
確認のメッセージが表示されます。



4. [新規作成] を押して、宛先を貼り付けます。

ヒント

貼り付けるアドレス帳に同名の宛先がある場合、以下のメッセージが表示されます。



- 「新規作成」を選択すると、同名の宛先がアドレス帳に作成されます。
- 「書き換え」を選択すると、同名の宛先を書き換えます。

9. 読取 / 送信設定

ScanFront のスキャン設定および送信設定について説明します。



- ① 宛先表示
アドレス選択画面で選択または、ジョブボタンに登録されている宛先を表示します。
- ② 詳細情報
背景に色の付いている宛先の詳細情報を表示します。
- ③ スキャン設定
スキャン条件を設定します。(→ P.3-27「スキャン設定」)
- ④ 詳細設定
スキャン条件の詳細設定を行います。(→ P.3-28「詳細設定」)
- ⑤ ファイル形式
表示されているファイル形式を確認し、[ファイル形式] ボタンを押して設定を行います。(→ P.3-31「ファイル形式」)
- ⑥ 送信設定
送信条件を設定します。(→ P.3-32「送信設定」)

- ⑦ [初期値] ボタン
変更した内容を ScanFront の初期値に戻します。

重要

ジョブボタンから開いた「読取 / 送信設定」画面で [初期値] ボタンを押した場合、設定値は ScanFront の初期値になりジョブボタンに登録されている設定値には戻りません。

- ⑧ [スタート] ボタン
スキャンを開始します。
- ⑨ [斜行補正] ボタン
傾いた原稿の搬送をスキャンした画像で検知して、画像がまっすぐになるように補正します。
- ⑩ [ブレスキャン] ボタン
スキャンを開始したとき、原稿を 1 枚スキャンして中断します。表示された 1 ページの画像で明るさとコントラストを確認 / 調整してからスキャンを続行します。

ヒント

- スキャンを開始すると原稿を 1 枚スキャンしてスキャンを中断し、1 枚目の画像を表示します。
 - 表示されている画像で明るさとコントラストを確認・調整します。「スキャン継続」を押すと調整した明るさとコントラストで 1 枚目の画像が確定してスキャンを続行します。
- ⑪ [戻る] ボタン
前画面に戻ります。

□ スキャン設定

スキャン設定にはスキャンの基本条件（用紙サイズ、モード、解像度、読み取り面、明るさ）の設定と、詳細設定があります。

基本条件設定



用紙サイズ

スキャンする原稿のサイズを選択します。

💡 ヒント

- [自動サイズ] は、スキャンした原稿のサイズを自動検知してスキャンします。
- 長尺紙をスキャンするときは [自動サイズ (長尺)] を選択します。

❗ 重要

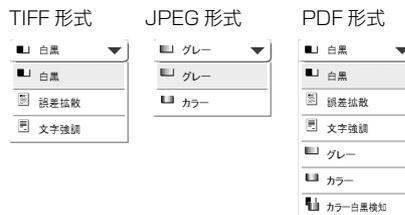
[自動サイズ (長尺)] を選択した場合、[解像度] を [300dpi] 以上に設定することはできません。

モード

スキャンするモードを選択します。

❗ 重要

- モードは、⑤ ファイル形式の設定 (→ P.3-31) の設定によって選択できるモードが限定されます。



- [文字強調] を選択した場合、詳細設定画面の [裏写り除去] はグレー表示され、設定することはできません。
- カラー白黒検知機能は、カラードロップアウトおよびプレスキャンと同時に使用することはできません。
- カラー白黒検知機能を使用すると、処理速度が低下することがあります。

解像度

スキャンする解像度を選択します。

❗ 重要

- [用紙サイズ] を [自動サイズ (長尺)] に設定しているときは、[解像度] を [300dpi] 以上に設定することはできません。
- [読み取り面] を [半折り] に設定しているときは、[解像度] を [400dpi] 以上に設定することはできません。

読み取り面

原稿をスキャンする面を選択します。

💡 ヒント

- [白紙スキップ] は、原稿の両面をスキャンして白紙と判断した画像の保存をスキップします。
- [白紙スキップ] を選択すると詳細設定の「白紙スキップ設定」が有効になります。(→ P.3-28 「白紙スキップの感度」)
- [半折り] を選択すると、半折りにして両面スキャンした原稿を1つの画像に合成できます。

❗ 重要

- [白紙スキップ] を選択した場合、処理速度が低下することがあります。
- [半折り] を選択したときは、[解像度] を [400dpi] 以上に設定することはできません。また、超音波重送検知はグレー表示され、設定することはできません。

明るさ

原稿の濃度に合わせて明るさを調整します。



ヒント

原稿の表裏の濃淡に差がある原稿を両面スキャンする場合、詳細設定により、表面と裏面の明るさの設定を変えてスキャンすることができます。

詳細設定

[詳細設定] ボタンを押すと詳細設定画面が開きます。



超音波重送検知 (ScanFront 300P のみ)

重なって搬送された原稿の間隔を超音波によって検出し、重送と判断したときに搬送を停止します。

重要

- 原稿の重なりが50mm以上の重送に対して有効です。重なり量の短い重送に対しては、重送検知は機能しません。
- ScanFront 300 の場合、超音波重送検知の設定は [OFF] になります。
- [読み取り面] を [半折り] に設定しているときは、超音波重送検知はグレー表示され、設定はできません。

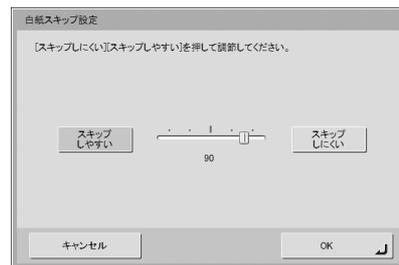
長さによる重送検知

原稿の長さによって重送を判断し、重送と判断したときに搬送を停止します。

重要

- 1 枚目の原稿の長さを基準とし、35mm 以上長い / 短い原稿を検知したときに重送として判断します。
- 用紙の長さの異なる原稿が混在しているときは、[長さによる重送検知] をオフにしてください。

白紙スキップの感度



読み取り面の設定で [白紙スキップ] を選択すると有効になり白紙をスキップする感度を調節します。



ヒント

- 白紙スキップの初期値は [90] に設定されています。
- [スキップしやすく] を押して設定値を低くすると、文字のある原稿でもスキップされやすくなる設定となります。
- [スキップしにくい] を押して設定値を高くすると、白紙原稿でもスキップされにくくなる設定となります。

画像回転



スキャンした画像を指定した角度に回転させます。

💡 ヒント

【自動】を選択したときは、原稿内の文字の向きを検知して、文字の向きが正しくなるように画像を回転させます。

❗ 重要

【自動】を選択した場合、処理速度が低下することがあります。

斜行補正



傾いた原稿の搬送をスキャンした画像で検知して、画像がまっすぐになるように補正します。

- **画質優先**
斜行補正で劣化した画像に画像処理を施して画質の劣化を抑えます。
- **速度優先**
斜行補正により画像が若干劣化します。

❗ 重要

【画質優先】を選択すると、補正後の画質が向上します。ただし、処理速度が低下するため、大量にスキャンするときは【速度優先】をお使いください。

裏写り除去



裏面に文字などがある薄い原稿をスキャンするときなど、裏面の模様が画像に写り込むようなときに、写り込んだ裏面の模様の画像を除去します。

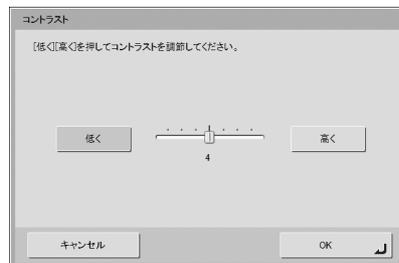
❗ 重要

モードで【文字強調】を選択しているときは、裏写り除去の設定はできません。

💡 ヒント

裏写り除去を使用するときは、原稿の状態に合わせて裏写り除去のレベルを調整します。

コントラスト



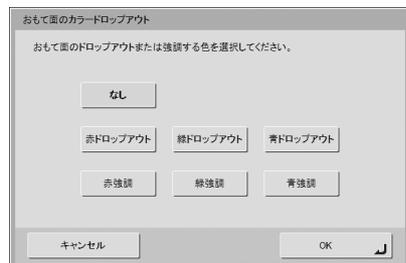
スキャンする画像のコントラストを調整します。

裏面の明るさ / コントラスト



両面スキャンのときに有効になり、原稿の表裏の濃淡に差があるときに使用します。[裏面の明るさ（コントラスト）を使用] をチェックすると、原稿の表裏で明るさとコントラストの設定を変えることができます。

おもて面（裏面）のカラードロップアウト

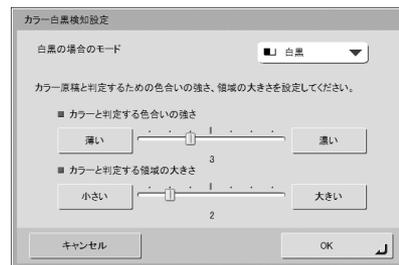


カラードロップアウトには、赤色、青色、緑色の指定した色を読み飛ばす「ドロップアウト」と、指定した色を強調する「色強調」の機能があり、おもて面と裏面でそれぞれ設定を行います。

❗ 重要

カラードロップアウトの設定はモードの設定が[カラー]のときは無効です。

カラー白黒検知設定



カラー白黒検知を選択したときに有効になり、原稿をカラーと白黒のどちらでスキャンするかを検知するための次の設定ができます。

- **白黒の場合のモード**
原稿が白黒と検知されたときにどのモードでスキャンするかを指定します。
- **カラーと判定する色合いの強さ**
原稿上の色に対する感度を調整します。
- **カラーと判定する領域の大きさ**
原稿上のカラーの部分の割合を指定します。

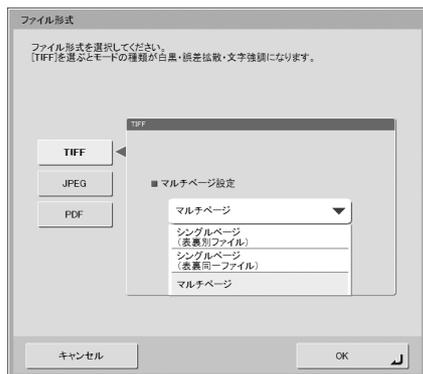
❗ 重要

- カラー白黒検知機能は、カラードロップアウトおよびプレスキャンと同時に使用することはできません。
- カラー白黒検知機能を使用すると、処理速度が低下することがあります。

□ ファイル形式

ファイル形式は、TIFF、JPEG、PDF の 3 種類のファイル形式から選択でき、ファイル形式の設定によってスキャンできるモードが限定されます。(→ P.3-27 「モード」)

TIFF 形式



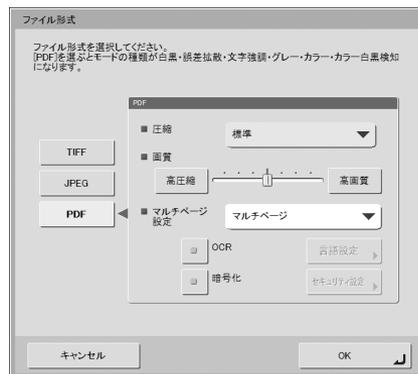
複数ページスキャンした画像ファイルを [シングルページ (表裏別ファイル)]、[シングルページ (表裏同一ファイル)]、[マルチページ (複数ページ同一ファイル)] のどの形式で保存するか選択します。

JPEG 形式



JPEG 圧縮の圧縮率を選択します。

PDF 形式

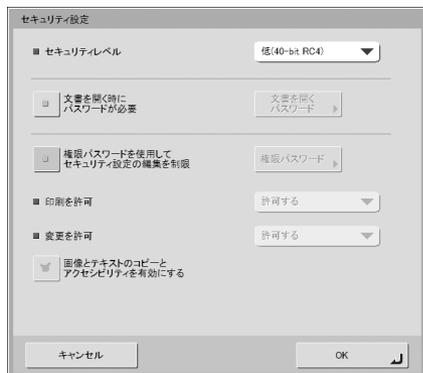


PDF 形式で保存するための以下の設定を行います。

- **圧縮**
圧縮の方法を選択します。
- **画質**
指定した圧縮方法に対する画質を調整します。
- **マルチページ設定**
複数ページスキャンした画像ファイルを [シングルページ (表裏別ファイル)]、[シングルページ (表裏同一ファイル)]、[マルチページ (複数ページ同一ファイル)] のどの形式で保存するか選択します。
- **OCR (文字認識)**
OCR をチェックすると、スキャンした原稿内の文字の部分が文字認識され、テキスト情報として PDF ファイルに埋め込まれます。
[言語設定] ボタンは、文字認識を行う言語を選択します。
- **暗号化 (セキュリティ)**
暗号化をチェックして [セキュリティ設定] ボタンを押すと、「セキュリティ設定」画面になり、PDF ファイルにセキュリティを設定できます。詳細については「PDF ファイルのセキュリティ設定」(→ P.3-32) を参照してください。

□ PDF ファイルのセキュリティ設定

セキュリティ設定では、暗号化とパスワードにより PDF ファイルにセキュリティを施します。



セキュリティレベル

セキュリティレベルには、高（128-bit RC4）レベルと低（40-bit RC4）レベルの設定があります。

❗ 重要

セキュリティレベルは、高（128-bit RC4）レベルでの設定を推奨します。低（40-bit RC4）レベルではセキュリティレベルが低下します。

文書を開く時にパスワードが必要

文書の閲覧をパスワードで制限します。

❗ 重要

パスワードを忘れると文書が開けなくなります。パスワードを設定したときは、忘れないように注意してください。

権限パスワードを使用してセキュリティ設定の編集を制限

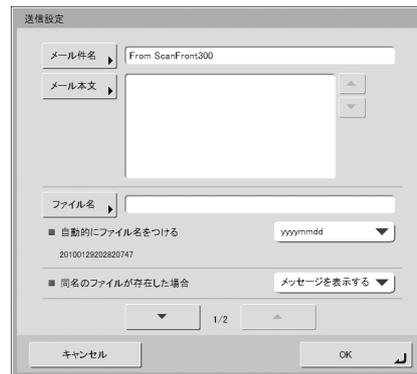
以下の設定を権限パスワードで制限します。

- 印刷を許可
プリンタによる PDF ファイルの印刷を許可します。
- 変更を許可
ページの追加や削除など、PDF ファイルの編集を許可します。
- 画像とテキストのコピーとアクセシビリティを有効にする
OCR により埋め込まれたテキスト情報のコピーや、音声ソフトによる PDF ファイルの読み上げを有効にします。

❗ 重要

- PDF ファイルの権限を制限した場合、パスワードで保護することを推奨します。
- パスワードで保護された PDF ファイルは、Adobe Acrobat など PDF ファイルを編集することのできるアプリケーションで権限の変更やパスワードを解除することができます。

□ 送信設定



メール設定（メール件名、メール本文）

メールで送信する場合の件名と、メールの本文を設定します。

ファイル名

送信する画像ファイルのファイル名を設定します。

自動的にファイル名をつける

指定したファイル名の後に日付と時間を表す 17 桁のファイル名を付加します。

例) 2010年5月14日15時40分30秒の場合

yyyymmdd: ファイル +20100514154030123

mmddyyyy: ファイル +05142010154030123

dmmmyyyy: ファイル +14052010154030123

* 末尾の 3 桁は、ミリ秒を表します。

Web メニューでカスタムファイル名を設定しているときは、[カスタム] を選択することで、スキャン画像のファイル名にカスタムファイル名を付加できます。(→ P.4-6)

❗ 重要

- 「ファイル名」と「自動的にファイル名をつける」は必ずどちらかを設定してください。ファイル名を入力しないで「自動的にファイル名をつける」を [なし] に設定した場合メッセージが表示されます。
- TIFF形式の「シングルページ」およびJPEG形式を選択した場合、ファイル名の末尾に「0001」から始まる 4 桁の連番が自動で付加されます。
- カスタムファイル名に次の文字を使用することはできません。
/:?*"<>|

同名のファイル名が存在した場合

送信先に同名のファイルが存在したときの処理方法を設定します。

- **メッセージを表示する**
ファイルの上書きを確認するメッセージを表示します。
- **処理を中断する**
送信を中止します。
- **上書きする**
送信先にあるファイルに上書きします。



スキャン後直ちに送信する

スキャンが終了したら画像の確認を行わないで画像を送信します。

送信前に宛先を確認する

スキャンが終了し、画像を送信する前に宛先の確認を行います。

送信後の画面

画像を送信後に表示する画面を選択します。

- **ホーム画面 (ジョブボタン画面)**
画像を送信後、ホーム画面 (ジョブボタン画面) に戻ります。

❗ 重要

- ホーム画面 (ジョブボタン画面) の設定は、Web メニューによるユーザ設定の「デバイスログイン後の画面」の設定が適用されません。
- 管理者によりホーム画面の使用が制限されているユーザは、「ジョブボタン画面」になります。
- **ログアウト**
画像を送信後、ログアウトします。
- **送信終了後の画面を選択する**
画像を送信後、画面を選択するダイアログボックスを表示します。



ヒント

ユーザを登録しないで使用する場合、[ログアウト] は表示されません。

インデックスファイルを送信する

画像といっしょにインデックスファイル（メタデータ）も送信するかどうかを指定します。

インデックスファイルを送信するときは、インデックス文字列を入力して指定します。

インデックスファイルは、Web メニューの設定に従って作成されます。（→ P.4-6）



重要

インデックスファイルに含める文字列に次の文字を使用することはできません。

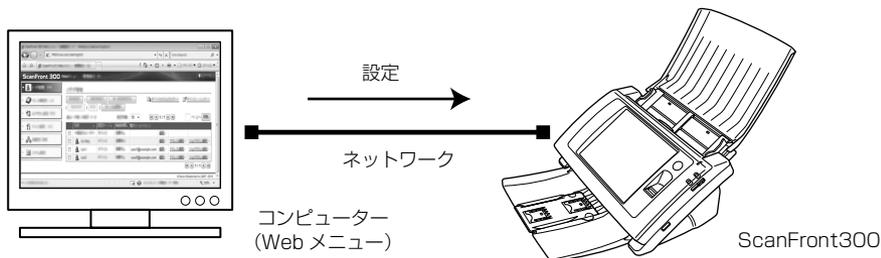
& " ' < >

第4章 Webメニュー（ユーザモード）

1. Webメニューについて	4-2
2. Webメニューへのログイン	4-3
3. ユーザ設定	4-4
ユーザ編集	4-5
ユーザ設定	4-5
4. アドレス帳設定	4-8
宛先の新規登録	4-10
宛先のコピー	4-12
アドレス帳のエクスポート / インポート	4-13
5. ジョブボタン設定	4-15
ジョブボタンの新規登録	4-17
読取設定について	4-18
ジョブボタンのコピー	4-22
ジョブの編集	4-23
ジョブボタンのエクスポート / インポート	4-23

1. Web メニューについて

「Web メニュー」は、ScanFront から離れた場所にあるコンピューターの Web ブラウザーから ScanFront にアクセスして設定を行うための機能です。「Web メニュー」では、アドレス帳の登録とジョブボタンの登録を行います。



❗ 重要

- Web ブラウザーは、Microsoft Internet Explorer 6.0 以降または Firefox 3.5 以降を使用します。
- 管理者またはユーザが ScanFront 本体にログインしていると、設定の変更ができません。
- Web メニューへログインするための URL には、ScanFront の「デバイス名」または「IP アドレス」を使用します。(→ P.4-3)
- Internet Explorer 7 以降で Web メニューを開くと、SSL の証明書が不正であることを知らせるメッセージが表示されることがありますが、そのまま Web メニューを開いて操作しても問題ありません。

Web メニュー (ユーザモード)



- ① ユーザ設定 (→ P.4-5 「ユーザ編集」)
ユーザ設定を変更します。
- ② アドレス帳設定 (→ P.4-8 「アドレス帳設定」)
すべてのユーザが共有して使用する「共有アドレス帳」とユーザごとに使用する「マイアドレス帳」の登録と管理を行います。
- ③ ジョブボタン設定 (→ P.4-15 「ジョブボタン設定」)
すべてのユーザが共有して使用する「共有ジョブボタン」とユーザごとに使用する「マイジョブボタン」の登録と管理を行います。

2. Web メニューへのログイン

Web メニューへのログインは以下の手順で行います。

🔗 ヒント

Web メニューへログインするための URL には [デバイス名] または、[IP アドレス] を使用します。[デバイス名] と [IP アドレス] については管理者にお問い合わせください。

1. ScanFront の電源をオンにします。
2. 管理者に [デバイス名] または、[IP アドレス] を確認します。
3. コンピューターで Web ブラウザーを起動します。
4. URL に [デバイス名] または、[IP アドレス] を入力して Web メニューを開きます。

例) デバイス名が「ScanFront300」の場合、

http://scanfront300

IP アドレスの場合、http://172.19.xxx.xxx



🔗 ヒント

Web メニューが管理者モードになっているときは、[ユーザモードへ] をクリックします。



❗ 重要

ログイン画面でユーザ名の上に「認証方法」が表示されているときは、ScanFront に登録されているユーザでのログイン（デバイス認証）の代わりに、ドメインサーバに登録されているアカウントでログインができます（サーバ認証）。詳細については、ScanFront の管理者にお問い合わせください。



5. ユーザ名とパスワードを入力して Web メニューにログインします。



❗ 重要

ユーザ名とパスワードは、大文字、小文字を正確に入力しないとログインできません。

3. ユーザ設定

「ユーザ設定」では、デバイス認証でログインしたユーザの情報を変更します。



- ① 設定へ (→ P.4-4 「ユーザ設定」)
ユーザの編集を行います。

□ ユーザ編集

[設定へ] をクリックしてユーザ情報の編集を行います。

ユーザ設定

ユーザ設定 > 編集

ユーザ設定	
認証サーバ:	デバイス
ユーザ名:	User1
パスワード変更:	<input type="checkbox"/> パスワードを変更する
パスワード:	<input type="password"/>
パスワード(確認用):	<input type="password"/>
メールアドレス:	user1@example.com
デバイスログイン後の画面:	<input checked="" type="radio"/> ホーム <input type="radio"/> ジョブボタン画面

● ユーザ名

新しいユーザ名を入力します。

● パスワード変更

[パスワードを変更する] チェックボックスをチェックし、新しいパスワードと確認用のパスワードを入力します。

● メールアドレス (変更不可)

メールアドレスを変更する場合は、管理者に連絡してください。

● SMTP/POP Before SMTP 認証

管理者が設定するメールサーバの設定で「メールサーバ認証方法」が標準 SMTP 以外に設定されているときに表示され、メールサーバで認証を行うための「ユーザ名」と「パスワード」を入力します。

❗ 重要

- 「パスワード」を入力するときは、[パスワードを変更する] をチェックしてパスワードを入力します。
- [パスワードを変更する] は、ScanFront に保存されているパスワード情報の更新を行い、サーバに登録されているパスワードは変更しません。
- サーバ認証でログインしたユーザの場合、「デバイスログイン後の画面」の選択のみ行います。
- サーバ認証でログインしたユーザの場合、メールアドレスが登録されない場合があります。メールアドレスの設定については管理者にお問い合わせください。

● デバイスログイン後の画面

ユーザがログインしたときに表示させる初期画面を「ホーム画面」、「ジョブボタン画面」から選択します。

ホーム画面



ジョブボタン画面



❗ 重要

- ログイン後の初期画面の設定は、スキャンした画像を送信後の動作に反映します。(→ P.4-17 「送信設定」)
- 管理者によりホーム画面の使用が制限されている場合、「デバイスログイン後の画面」の設定は [ジョブボタン画面] のみの表示になります。詳細については、管理者にお問い合わせください。

カスタムファイル名設定

スキャン画像の保存時に適用するファイル名の付け方を指定します。スキャン時にカスタムファイル名を使用する設定にした場合に、ここで設定したファイル名で画像ファイルが保存されます。カスタムファイル名には、この画面上に表示されている設定項目の順に文字列が付加されます。

カスタムファイル名設定	
カスタムファイル名	
設定の説明:	送信するイメージファイル名に各種情報を付加できます。
セパレータ:	<input type="checkbox"/> 有効 + (ハイフン)
1. 文字列:	<input type="text"/>
2. ユーザ名:	<input type="checkbox"/> 有効
3. 日付:	<input type="checkbox"/> 有効 yyyyymmdd
4. 時刻:	<input type="checkbox"/> 有効 hhmmss
5. デバイス名:	<input type="checkbox"/> 有効
6. カウンタ:	<input type="checkbox"/> 有効 (カウンタの設定はシングルページの時のみ有効になります。)
開始番号:	<input type="text" value="0"/>
桁数:	<input type="text" value="0"/>

! 重要

カスタムファイル名に次の文字を使用することはできません。

/:?* "<>!

• セパレータ

ファイル名に含めるように設定した各文字列の間に区切り文字を入れる場合に [有効] チェックボックスをオンにし、区切り文字をリストボックスで選択します。

• 文字列

ファイル名に含める文字列を指定します。

• ユーザ名

ファイル名にユーザ名を含める場合に [有効] チェックボックスをオンにします。

• 日付

ファイル名に日付を含める場合に [有効] チェックボックスをオンにし、日付の表記方法をリストボックスで選択します。

• 時刻

ファイル名に時刻を含める場合に [有効] チェックボックスをオンにし、時刻の表記方法をリストボックスで選択します。

• デバイス名

ファイル名にデバイス名を含める場合に [有効] チェックボックスをオンにします。

• カウンタ / 開始番号 / 桁数

ファイル名にカウンターを含める場合に [有効] チェックボックスをオンにします。この場合はカウンターの開始番号と桁数を指定できます。

インデックス設定

スキャン画像に添付するインデックスファイル (メタデータ) の内容を指定します。インデックスファイルには、この画面上に表示されている設定項目の順にデータが含まれます。

インデックス設定	
設定の説明:	スキャンしたイメージファイルの送信と同時にスキャン実行時の各種情報をsvまたはxml形式のインデックスファイルとして送信できます。
インデックス文字列:	<input type="text"/>
フィールド名:	String
ユーザ名:	<input type="checkbox"/> 有効 フィールド名: <input type="text"/>
日付:	<input type="checkbox"/> 有効 フォーマット: yyyyymmdd フィールド名: <input type="text"/>
時刻:	<input type="checkbox"/> 有効 フォーマット: hhmmss フィールド名: <input type="text"/>
デバイス名:	<input type="checkbox"/> 有効 フィールド名: <input type="text"/>
カウンタ:	<input type="checkbox"/> 有効 開始番号: <input type="text" value="0"/> 桁数: <input type="text" value="0"/> フィールド名: <input type="text"/>
ファイル名:	<input type="checkbox"/> 有効 フィールド名: <input type="text"/>
ファイルサイズ:	<input type="checkbox"/> 有効 フィールド名: <input type="text"/>
ページ数:	<input type="checkbox"/> 有効 フィールド名: <input type="text"/>
送信先のパス:	<input type="checkbox"/> 有効 フィールド名: <input type="text"/>
インデックスファイルのフォーマット:	<input checked="" type="radio"/> XML <input checked="" type="radio"/> CSV

! 重要

インデックスファイルに含める文字列に次の文字を使用することはできません。

& "' <>

- **インデックス文字列 / フィールド名**
インデックス文字列を入力します。フィールド名は初期設定値「String」を必要に応じて変更できます。
 - **ユーザ名**
インデックスファイルにユーザ名を含める場合に [有効] チェックボックスをオンにします。フィールド名は初期設定値「User」を必要に応じて変更できます。
 - **日付**
インデックスファイルに日付を含める場合に [有効] チェックボックスをオンにし、日付の表記方法を [フォーマット] リストボックスで選択します。フィールド名は初期設定値「Date」を必要に応じて変更できます。
 - **時刻**
インデックスファイルに時刻を含める場合に [有効] チェックボックスをオンにし、時刻の表記方法を [フォーマット] リストボックスで選択します。フィールド名は初期設定値「Time」を必要に応じて変更できます。
 - **デバイス名**
インデックスファイルにデバイス名を含める場合に [有効] チェックボックスをオンにします。フィールド名は初期設定値「Device」を必要に応じて変更できます。
 - **カウンタ / 開始番号 / 桁数**
インデックスファイルにカウンタを含める場合に [有効] チェックボックスをオンにします。この場合はカウンタの開始番号と桁数を指定できます。フィールド名は初期設定値「Counter」を必要に応じて変更できます。
 - **ファイル名**
インデックスファイルにファイル名を含める場合に [有効] チェックボックスをオンにします。フィールド名は初期設定値「FileName」を必要に応じて変更できます。
 - **ファイルサイズ**
インデックスファイルにファイルサイズを含める場合に [有効] チェックボックスをオンにします。フィールド名は初期設定値「FileSize」を必要に応じて変更できます。
 - **ページ数**
インデックスファイルにスキャン画像のページ数を含める場合に [有効] チェックボックスをオンにします。フィールド名は初期設定値「PageNumber」を必要に応じて変更できます。
 - **送信先のパス**
インデックスファイルに送信先のパスを含める場合に [有効] チェックボックスをオンにします。フィールド名は初期設定値「Folder」を必要に応じて変更できます。
 - **インデックスファイルのフォーマット**
インデックスファイルのファイル形式を指定します。
- [OK] ボタン**
変更した内容でユーザ情報が更新されます。

4. アドレス帳設定

「アドレス帳設定」では、すべてのユーザが共有して使用する「共有アドレス帳」とユーザごとに使用する「マイアドレス帳」の登録を行います。



- ① **アドレス帳の種類**
編集するアドレス帳（共有アドレス帳、マイアドレス帳）を選択します。
- ② **デバイスからエクスポート**
アドレス帳のデータを CSV 形式のファイルに書き出します。（→ P.4-13「アドレス帳のエクスポート/インポート」）
- ③ **デバイスへインポート**
書き出したアドレス帳のデータをインポートします。（→ P.4-13「アドレス帳のエクスポート/インポート」）
- ④ **宛先タイプ**
表示する宛先のタイプ（メール、FTP サーバ、共有フォルダ、グループ、全て）を選択します。
- ⑤ **【新規登録】 ボタン**
新しい宛先を登録します。（→ P.4-10「宛先の新規登録」）
- ⑥ **【すべて選択】 ボタン**
表示されているすべての宛先を選択します。
- ⑦ **【すべて選択解除】 ボタン**
表示されているすべての宛先の選択を解除します。
- ⑧ **【コピー】 ボタン**
宛先を選択すると有効になり、選択した宛先をコピーします。（→ P.4-12「宛先のコピー」）
- ⑨ **【削除】 ボタン**
宛先を選択すると有効になり、選択した宛先を削除します。
- ⑩ **宛先一覧**
登録されている宛先を表示します。
 - **チェックボックス**：宛先を選択します。
 - **宛先の種類（アイコン）**
 - ：FTP
 - ：共有フォルダ
 - ：メール
 - ：FAX
 - ：グループ
 - **編集**：宛先を編集します。

❗ 重要

管理者により、アドレス帳の編集が制限されている場合、アドレス帳設定は以下のようになります。詳細については、管理者にお問い合わせください。

- 「マイアドレス帳」と「共有アドレス帳」で片方のアドレス帳の編集が制限されている場合、編集が制限されたアドレス帳は宛先のコピーのみ可能で、編集が制限されていないアドレス帳に貼り付けることができます。



- 「マイアドレス帳」と「共有アドレス帳」の両方の編集が制限されている場合、宛先の詳細情報の表示のみになります。



□ 宛先の新規登録

アドレス帳の種類（共有アドレス帳、マイアドレス帳）を選択し、[新規登録] ボタンをクリックして新しい宛先を登録します。

ヒント

- 共有アドレス帳（マイアドレス帳）に登録できる宛先の数、共有ジョブボタン（マイジョブボタン）に含まれる宛先の総数と合わせて 1000 件以下です。
- 上記の件数に於いて、グループはグループに登録される件数（最大 99 件）+ グループ名でカウントされ、宛先が 99 件登録されているグループでは 1 つのグループで 100 件としてカウントされます。
- 宛先は、宛先のタイプ（メール、FTP サーバ、共有フォルダ、FAX、グループ）によって設定項目が変化します。

宛先の共通項目

名称

ScanFront 本体に表示する名称を入力します。

ふりがな

ScanFront 本体に表示される宛先をソート（並び替え）するための、「ふりがな」を入力します。

ヒント

「ふりがな」は、ScanFront 本体に表示される宛先のソートと、ScanFront 本体のジャンプキーによる宛先の検索に使用します。

宛先タイプ：メール

電子メールのアドレスを登録します。

アドレス帳設定 > マイアドレス帳 > 新規登録

宛先タイプ:	メール
--------	-----

アドレス帳設定 - メール	
名称:	<input type="text"/>
ふりがな:	<input type="text"/>
メールアドレス:	<input type="text"/>

OK	キャンセル
----	-------

メールアドレス

送信先のメールアドレスを入力します。

[OK] ボタン

設定した条件でメールアドレスが新規登録されます。

宛先タイプ：FTP サーバ

ネットワーク内に設定されている FTP サーバを登録します。

重要

ファイアウォールの設定が必要な FTP サーバは登録できません。

アドレス帳設定 > マイアドレス帳 > 新規登録

宛先タイプ:	FTPサーバ
--------	--------

アドレス帳設定 - FTPサーバ	
名称:	<input type="text"/>
ふりがな:	<input type="text"/>
FTPサーバ:	<input type="text"/>
フォルダへのパス:	<input type="text"/> <input type="button" value="参照..."/>
ポート番号:	<input type="text" value="21"/>
ユーザ名:	<input type="text"/>
パスワード:	<input type="password"/>
パスワード保存:	<input checked="" type="checkbox"/> パスワードを保存する
ハッシュモード:	<input type="checkbox"/> ハッシュモードを使用する

OK	キャンセル
----	-------

FTP サーバ

FTP サーバの「IP アドレス」または「ホスト名」を入力します。

フォルダへのパス

FTP サーバのサブフォルダを指定するときにサブフォルダのパスを入力します。

ヒント

サブフォルダのパスが不明なときは以下の手順でサブフォルダを指定します。

- 「サーバアドレス」と「ユーザ名」、「パスワード」を入力してから [参照] ボタンをクリックして FTP サーバにログインします。
- 表示されたフォルダの階層から任意のサブフォルダを指定して [OK] をクリックします。

ユーザ名 / パスワード

FTP サーバにログインするためのユーザ名とパスワードを入力します。

❗ 重要

ユーザ名とパスワードは、FTP サーバに書き込み権限のあるアカウントのユーザ名とパスワードを入力してください。

ポート番号

ポート番号を入力します。標準のポート番号は 21 です

パスワード保存

入力したパスワードを保存します。

パッシブモード

FTP サーバへの送信をパッシブモードで行います。

❗ 重要

パッシブモードは FTP サーバとの通信が正常できないときに使用します。ただし、ネットワークの状態によっては通信できない場合もあります。

[OK] ボタン

設定した条件で FTP サーバが新規登録されます。

宛先タイプ：共有フォルダ

ネットワーク上に公開されている共有フォルダを登録します。

アドレス帳設定 > マイアドレス帳 > 新規登録

宛先タイプ:	共有フォルダ ▾
--------	----------

アドレス帳設定 - 共有フォルダ	
名称:	<input type="text"/>
ふりがな:	<input type="text"/>
コンピュータ名 (ホスト名):	<input type="text"/>
フォルダへのパス:	<input type="text"/> 参照
ユーザ名:	<input type="text"/>
パスワード:	<input type="password"/>
ドメイン / ワークグループ:	<input type="text"/>
パスワード保存:	<input checked="" type="checkbox"/> パスワードを保存する

ドメインに所属しているコンピュータの一覧を表示するためには、ドメインに参加しているユーザ名とパスワードを入力して、参照ボタンを押して下さい。

OK キャンセル

コンピュータ名 (ホスト名)

共有フォルダを公開しているコンピュータ名を入力します。ScanFront Service を導入しているときは、ホスト名の代わりに IP アドレスを入力できます。

フォルダへのパス

共有フォルダの名称と登録するサブフォルダのパスを入力します。

【参照】 ボタン

ネットワークに接続されているコンピュータを一覧表示して、共有フォルダを指定します。

💡 ヒント

共有フォルダは以下の手順で表示させます。

1. 「コンピュータ名」と「ユーザ名」、「パスワード」、「ドメイン / ワークグループ」を入力してから [参照] ボタンをクリックし、共有フォルダを公開しているコンピュータにアクセスします。ただし、Windows 7 または Windows Server 2008 R2 がインストールされたコンピュータのサブフォルダは、[参照] ボタンをクリックして参照することができません。この場合は、コンピュータ名とその最上位のフォルダまでのパスを [フォルダへのパス] に入力してから [参照] ボタンをクリックしてください。
2. 表示されたコンピュータから任意のサブフォルダを指定して [OK] をクリックします。

❗ 重要

- ユーザのアカウント情報を入力しないで [参照] ボタンをクリックすると、同一のネットワークアドレス内のワークグループおよびコンピュータが表示されます。
- ドメインに参加していないワークグループを表示させる場合、ネットワークアドレスが異なるコンピュータのワークグループを表示させることはできません。
- ScanFront を起動させた直後では、ネットワーク内のワークグループ、コンピュータをすべて表示させることはできません。表示されないワークグループ、コンピュータがあるときは、数分経ってから [参照] ボタンを押してください。
- Web メニューでは指定したフォルダに新規フォルダを作成することはできません。フォルダを新規に作成する場合には、FTP サーバを設定しているコンピュータまたは、ScanFront 本体の宛先編集機能で予めフォルダを作成してください。

ユーザ名 / パスワード

共有フォルダーに書き込み権限のあるアカウントのユーザ名とパスワードを入力します。

ドメイン / ワークグループ

共有フォルダーを公開しているコンピューターがドメインに参加している場合、ドメイン名を入力します。

❗ 重要

- 共有フォルダーを公開しているコンピューターがドメインに参加している場合、ドメインに登録されているユーザ名とパスワード、ドメイン名を入力します。
- 共有フォルダーを公開しているコンピューターがドメインに参加していない場合は、「ドメイン / ワークグループ」の入力は必要ありません。

パスワード保存

宛先にパスワードを保存するときにチェックします。

❗ 重要

パスワードを保存しない場合、送信時にパスワードの入力が必要になります。

[OK] ボタン

設定した条件で共有フォルダーが新規登録されます。

宛先タイプ：FAX

FAX の送信先を登録します。

アドレス帳設定 > マイアドレス帳 > 新規登録

宛先タイプ:	FAX
アドレス帳設定 - FAX	
名称:	
ふりがな:	
FAX番号:	
OK キャンセル	

• FAX 番号

FAX の送信先の電話番号を入力します。

• [OK] ボタン

設定した条件で FAX の送信先が新規登録されます。

宛先タイプ：グループ

登録した宛先をグループにまとめて登録します。

💡 ヒント

グループには、メールアドレスや共有フォルダーなど異なるタイプの宛先をグループとして登録することができ、1 つのグループに最大 99 件の宛先を登録できます。

アドレス帳設定 > マイアドレス帳 > 新規登録

宛先タイプ:	グループ
アドレス帳設定 - グループ	
名称:	
ふりがな:	
宛先設定	
アドレス帳から追加...	
総アドレス数: 0	表示件数: 10
1 / 1	
名称	ふりがな
宛先パス	
表示するアイテムがありません	
1 / 1	
OK キャンセル	

アドレス帳から追加

アドレス帳から宛先を選択してグループ追加し、リストに表示します。

[OK] ボタン

設定した条件でグループが新規登録されます。

❑ 宛先のコピー

宛先をコピーして、新しい宛先として登録します。

ここでは、「共有アドレス帳」から「マイアドレス帳」へのコピーを例として説明します。

💡 ヒント

宛先のコピーは、「共有アドレス帳」と「マイアドレス帳」で相互に宛先をコピーしたり、設定の一部を変更して別の宛先として登録するときには使用します。

1. アドレス帳の種類を「共有アドレス帳」にします。

2. コピーする宛先を選択し、[コピー] ボタンをクリックします。



3. コピー先を「マイアドレス帳」にして [OK] をクリックします。



4. コピーされた宛先を確認します。



□ アドレス帳のエクスポート / インポート

アドレス帳を CSV 形式のファイルにバックアップおよび、バックアップしたアドレス帳のデータを他の ScanFront にインポートして使用します。

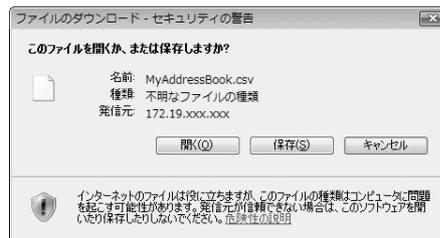
💡 ヒント

ScanFront が複数台ある場合、1 台の ScanFront で登録したアドレス帳を他の ScanFront にインポートすることにより、同じアドレス帳を使用することができます。

デバイスからエクスポート

アドレス帳のデータを指定したフォルダーに保存します。

1. [デバイスからエクスポート] をクリックします。



2. [保存] をクリックし、保存場所を指定してアドレス帳のデータを保存します。

💡 ヒント

- 保存した CSV ファイルは、CSV ファイルに対応した表計算ソフトウェアなどで開くことによりファイルの構造を確認することができます。
- 他のメーカーで作成した CSV ファイルの構造を ScanFront で保存した CSV ファイルの構造に合わせることで、他のメーカーのアドレス帳を ScanFront にインポートして使用することができます。

デバイスへインポート

エクスポートしたアドレス帳のデータをインポートします。

1. [デバイスへインポート] をクリックします。

マイアドレス帳 > アドレス帳のインポート

アドレス帳設定	
アドレス帳ファイル:	<input type="text"/> <input type="button" value="参照"/>
データの扱い:	<input type="radio"/> データを全て置き換える(現在の情報すべて削除される) <input type="radio"/> データを全て追記する

2. [参照] をクリックし、エクスポートしたアドレス帳の設定ファイルを指定します。

3. アドレス帳の設定ファイルをインポートした際の処理方法を選択します。

- データを全て置き換える：現在登録されているアドレス帳がすべて削除され、インポートするアドレス帳のデータに置き換えられます。
- データを全て追記する：現在登録されているアドレス帳に、インポートするアドレス帳のデータが追記されます。

4. [実行] をクリックします。

メッセージを確認してインポートを行います。



ヒント

インポートが終了すると以下のメッセージが表示されます。[OK] をクリックしてアドレス帳設定に戻り、インポートされた宛先を確認します。

Information

"C:\Documents and Settings\User\My Documents\MyAddressBook.csv" ファイルのインポートが完了しました。

5. ジョブボタン設定

「ジョブボタン設定」では、すべてのユーザが共有して使用する「共有ジョブボタン」とユーザごとに使用する「マイジョブボタン」の登録を行います。



- ① ジョブボタンの種類**
編集するジョブボタン（共有ジョブボタン、マイジョブボタン）を選択します。
- ② デバイスからエクスポート**
ジョブボタンのデータをdat形式のファイルに書き出します。（→ P.4-23 「ジョブボタンのエクスポート/インポート」）
- ③ デバイスへインポート**
書き出したジョブボタンのデータをインポートします。（→ P.4-23 「ジョブボタンのエクスポート/インポート」）
- ④ [新規登録] ボタン**
新しいジョブボタンを登録します。（→ P.4-17 「ジョブボタンの新規登録」）
- ⑤ [すべて選択] ボタン**
表示されているすべてのジョブボタンを選択します。
- ⑥ [すべて選択解除] ボタン**
表示されているすべてのジョブボタンの選択を解除します。
- ⑦ [コピー] ボタン**
ジョブボタンを選択すると有効になり、選択したジョブボタンをコピーします。（→ P.4-22 「ジョブボタンのコピー」）
- ⑧ [削除] ボタン**
ジョブボタンを選択すると有効になり、選択したジョブボタンを削除します。
- ⑨ ジョブボタン一覧**
登録されているジョブボタンを表示します。
 - **チェックボックス**：ジョブボタンを選択するときにチェックします。
 - **編集**：ジョブボタンを編集します。

重要

管理者により、ジョブボタンの編集が制限されている場合、ジョブボタン設定は以下のようになります。詳細については、管理者にお問い合わせください。

- 「マイジョブボタン」と「共有ジョブボタン」で片方のジョブボタンの編集が制限されている場合、編集が制限されたジョブボタンはコピーのみ可能で、編集が制限されていないジョブボタンに貼り付けることができます。



- 「マイジョブボタン」と「共有ジョブボタン」の両方の編集が制限されている場合、ジョブボタンの詳細情報の表示のみになります。



□ ジョブボタンの新規登録

「新規登録」ボタンで新しいジョブボタンを登録します。

ジョブボタン設定

ジョブボタン > マイジョブボタン > 新規登録

ジョブボタン設定	
ジョブボタン名:	<input type="text"/>
ボタンの色:	<input checked="" type="radio"/> 青 <input type="radio"/> 黄色 <input type="radio"/> ピンク <input type="radio"/> 赤 <input type="radio"/> オレンジ <input type="radio"/> 紫 <input type="radio"/> 水色
ジョブボタンが選択された時の動作:	読取設定画面を表示する

ジョブボタン名

本体のパネルに表示するジョブボタンの名称を入力します。

🔍 ヒント

- ジョブボタンはジョブボタン名でソートして表示します。ジョブボタンを任意の順番で表示させるためには名称の前に英字または数字を入れて登録します。例) O1_xxxx
- ジョブボタン名を2行にすると、ジョブボタンの表示も2行になります。

ボタンの色

ジョブボタンの色を指定します。

ジョブボタンが選択された時の動作

- 読取設定画面を表示する
ジョブボタンを押したときに「読取設定」画面を表示します。
- 読取設定画面をスキップする
ジョブボタンを押したときに「読取設定」画面を表示しないでスキャンを開始します。

❗ 重要

「読取設定画面をスキップする」を選択した場合、ジョブボタンを押すと原稿の有無に関係なくスキャンを開始します。

宛先設定

「アドレス帳から設定 ...」をクリックして宛先設定ページを開き、送信するアドレスを選択します。

❗ 重要

- ジョブボタンに登録できる宛先は最大100件です。
- 上記の件数に於いて、グループはグループに登録される件数(最大99件) + グループ名でカウントされ、宛先が99件登録されているグループでは1つのグループで100件としてカウントされます。

読取設定 / 詳細設定

読取設定 / 詳細設定については「読取設定について」(→ P.4-18)を参照してください。

メール設定

メール設定	
メール件名:	From ScanFront300
メール本文:	<input type="text"/>

メール件名

送信する電子メールの件名を入力します。

メール本文

電子メールの本文を入力します。

送信設定

送信設定	
同名のファイルが存在した場合:	メッセージを表示する
スキャン後直ちに送信する:	<input type="radio"/> ON <input checked="" type="radio"/> OFF
送信前に宛先を確認する:	<input checked="" type="radio"/> ON <input type="radio"/> OFF
送信後の画面:	初期画面

同名のファイル名が存在した場合

送信先に同名のファイル名が存在したときの処理を選択します。

- メッセージを表示する
上書きの確認のメッセージを表示します。

- 処理を中断する
送信を中止します。
- 上書きする
メッセージを表示しないで、同名のファイルに上書きします。

スキャン後直ちに送信する

- ON
スキャンが終了したら送信を開始します。
- OFF
スキャンが終了したら画像の確認を行ってから送信を開始します。

送信前に宛先を確認する

- ON
「宛先確認」画面を表示し、宛先を確認してから送信します。
- OFF
宛先を確認しないで送信します。

送信後の画面

画像を送信したあとに表示させる画面を選択します。

- 初期画面
ユーザ設定の [デバイスログオン後の画面] で設定されているユーザの初期画面に戻ります。
- ログアウト
画像を送信したらログアウトします。
- 送信終了後の画面を選択する
送信後、上記の動作を選択するメッセージ画面を表示します。

インデックス設定

スキャン画像にメタデータ (インデックスファイル) を添付するかどうかを指定します。

インデックス設定	
設定の説明:	スキャンしたイメージファイルの送信と同時にスキャン実行時の各種情報をcsvまたはxml形式のインデックスファイルとして送信できます。
インデックスファイルを送信する:	<input type="radio"/> ON <input checked="" type="radio"/> OFF

OK キャンセル 初期値

□ 読取設定について

読取設定には、スキャン条件の基本設定と詳細設定、ファイル形式別の個別の設定があります。

読取設定

読取設定	
用紙サイズ:	自動サイズ
モード:	白黒
解像度 (dpi):	150
読み取り面:	片面
白紙スキップの感度:	90 (0 - 100) 0:スキップしやすい 100:スキップしにくい
プレスキャン:	<input type="radio"/> ON <input checked="" type="radio"/> OFF
ファイル名:	
ジョブボタンが選択された時の動作:	ファイル名入力画面をスキップする
ファイル名に日付と時間を付加する:	yyyymmdd
ファイル形式:	<input checked="" type="radio"/> TIFF <input type="radio"/> JPEG <input type="radio"/> PDF
マルチページ設定:	マルチページ

用紙サイズ

スキャンする原稿のサイズをリストから選択します。

💡 ヒント

- [自動サイズ] は、スキャンした原稿のサイズを自動検知してスキャンします。
- 長尺紙をスキャンするときは [自動サイズ (長尺)] を選択します。

❗ 重要

[自動サイズ (長尺)] を選択したとき場合、[解像度] を [300dpi] 以上に設定することはできません。

モード

スキャンするモード (白黒、誤差拡散、文字強調、グレー、カラー、カラー白黒検知) を選択します。
[カラー白黒検知] を選択すると、原稿がカラーか白黒かが自動的に検知されます。この場合は次の設定ができます。

設定設定	
用紙サイズ:	自動サイズ
モード:	カラー白黒検知
カラー白黒検知設定:	
白黒の場合のモード:	白黒
カラーと判定する色合いの強さ:	3
カラーと判定する領域の大きさ:	2
解像度(dpi):	150
読み取り面:	片面
白紙スキップの感度:	90 (0 - 100)
プレスキャン:	<input type="radio"/> ON <input checked="" type="radio"/> OFF
ファイル名:	
ジョブボタンが選択された時の動作:	ファイル名入力画面をスキップする
ファイル名に日付と時間を付加する:	yyyymmdd
ファイル形式:	<input checked="" type="radio"/> TIFF <input type="radio"/> JPEG <input type="radio"/> PDF
マルチページ設定:	マルチページ

- **白黒の場合のモード**
原稿が白黒と検知されたときにどのモードでスキャンするかを指定します。
- **カラーと判定する色合いの強さ**
原稿上の色に対する感度を調整します。
- **カラーと判定する領域の大きさ**
原稿上のカラーの部分の割合を指定します。

❗ 重要

- カラー白黒検知機能は、カラードロップアウトおよびプレスキャンと同時に使用することはできません。
- 選択したモードによって保存できるファイル形式が限定され、設定できない組み合わせの場合、メッセージが表示されます。

	TIFF	JPEG	PDF
白黒	○	—	○
誤差拡散	○	—	○
文字強調	○	—	○
グレー	—	○	○
カラー	—	○	○
カラー白黒検知	—	—	○

- [文字強調] を選択した場合、[裏写り除去] は設定できません。

解像度

スキャンする解像度 (100dpi、150dpi、200dpi、300dpi、400dpi、600dpi) を選択します。

読み取り面

原稿をスキャンする面 (片面、両面、白紙スキップ、半折り) を選択します。



ヒント

- 白紙スキップは、原稿の両面をスキャンして白紙と判断した画像の保存をスキップします。
- 白紙スキップは、「白紙スキップの感度」で白紙をスキップする感度を調節します。
- 白紙スキップの初期値は、「90」に設定されています。設定値を低くすると、白紙でない原稿もスキップされるようになり、設定値を高くすると、白紙の原稿もスキップされなくなります。



重要

- 白紙スキップを選択した場合、処理速度が低下することがあります。
- [半折り] を選択したときは、[解像度] を [400dpi] 以上に設定することはできません。また、超音波重送検知は設定できません。

プレスキャン

1 枚目の原稿で画像を確認してからスキャンを行います。



ヒント

- スキャンを開始すると原稿を 1 枚スキャンしてスキャンを中断し、1 枚目の画像を表示します。
- 表示されている画像で明るさとコントラストを確認・調整します。「スキャン継続」を押すと調整した明るさとコントラストで 1 枚目の画像が確定してスキャンを続行します。

ファイル名

送信する画像ファイルのファイル名を指定します。

ファイル名に日付けと時間を付加する

送信する画像ファイルに日付けと時間を表す 17 桁のファイル名を付加します。

例) 2010 年 5 月 14 日 15 時 40 分 30 秒の場合
yyyymmdd: ファイル +20100514154030123
mmddyyyy: ファイル +05142010154030123
ddmmyyyy: ファイル +14052010154030123
* 末尾の 3 桁は、ミリ秒を表します。

[カスタム] を選択すると、付加するファイル名を詳細に設定できます。設定内容は「カスタムファイル名設定」(→ P.4-6) と同じです。

ジョブボタンが選択された時の動作

ジョブボタンでスキャンを開始したときに、ファイル名入力画面を表示するかどうかを指定します。

ファイル形式

画像ファイルのファイル形式を選択し、ファイル形式に合わせて設定を行います。

TIFF 形式：マルチページ設定

ファイル形式:	<input checked="" type="radio"/> TIFF <input type="radio"/> JPEG <input type="radio"/> PDF
マルチページ設定:	マルチページ

複数ページスキャンした画像ファイルを [シングルページ (表裏別ファイル)]、[シングルページ (表裏同一ファイル)]、[マルチページ (複数ページ同一ファイル)] のどの形式で保存するか選択します。

JPEG 形式：圧縮率

ファイル形式:	<input type="radio"/> TIFF <input checked="" type="radio"/> JPEG <input type="radio"/> PDF
圧縮:	4(標準)
詳細設定	1(高圧縮) 2 3
明るさ(表):	4(標準)
明るさ(裏):	5 6
コントラスト(表):	7(高画質) <input checked="" type="checkbox"/> おもて面と同じ

JPEG 形式で保存する場合の圧縮率を選択します。

PDF 形式:

圧縮率、マルチページ設定、OCR (文字認識)、セキュリティの設定を行います。

ファイル形式:	<input type="radio"/> TIFF <input type="radio"/> JPEG <input checked="" type="radio"/> PDF
圧縮方法:	<input checked="" type="radio"/> 標準 <input type="radio"/> 高圧縮
圧縮:	4(標準)
マルチページ設定:	マルチページ
OCR:	<input checked="" type="radio"/> ON <input type="radio"/> OFF
OCR言語選択:	日本語
セキュリティ:	<input checked="" type="radio"/> ON <input type="radio"/> OFF
セキュリティレベル:	<input checked="" type="radio"/> 低(40-bit RC4) <input type="radio"/> 高(128-bit RC4)
文書保護:	<input type="checkbox"/> 文書を閉く時にパスワードが必要
文書名開くパスワード:	<input type="text"/> (確認用)
権限保護:	<input checked="" type="checkbox"/> 権限パスワードを使用してセキュリティ設定の編集を制限
権限パスワード:	<input type="text"/> (確認用)
印刷許可:	<input type="radio"/> 許可する <input checked="" type="radio"/> 許可しない
変更許可:	<input type="radio"/> 許可する <input checked="" type="radio"/> 許可しない
画像とテキストのコピーとスクリーンショットを有効にする:	<input type="radio"/> ON <input checked="" type="radio"/> OFF

圧縮方法

圧縮方法を [標準] と [高圧縮] から選択し、圧縮レベルを指定します。

OCR (文字認識)

OCR を [ON] にすると原稿内の文字の部分が文字認識され、テキスト情報として PDF ファイルに埋め込まれます。

ヒント

OCR を [ON] にしたときは、原稿内の文字に合わせて OCR を行う言語を選択します。

セキュリティ

PDF ファイルにセキュリティを施します。

重要

セキュリティレベルは、高 (128-bit RC4) レベルでの設定を推奨します。低 (40-bit RC4) レベルではセキュリティレベルが低下します。

文書保護

文書の閲覧をパスワードで保護します。

！重要

パスワードを忘れると文書が開けなくなります。パスワードを設定したときは、忘れないように注意してください。

権限保護

PDF ファイルの印刷と編集の権限をパスワードで保護します。

印刷を許可

プリンタによる PDF ファイルの印刷を許可します。

変更を許可

ページの追加や削除など、PDF ファイルの編集を許可します。

画像とテキストのコピーとアクセシビリティを有効にする

OCR により埋め込まれたテキスト情報のコピーや、音声ソフトによる PDF ファイルの読み上げを有効にします。

！重要

- PDF ファイルの権限を制限した場合、パスワードで保護することを推奨します。
- パスワードで保護された PDF ファイルは、Adobe Acrobat など PDF ファイルを編集することのできるアプリケーションで権限の変更やパスワードを解除することができます。

詳細設定

詳細設定	
明るさ(表) :	5(標準) ▼
明るさ(裏) :	5(標準) ▼ <input type="checkbox"/> おもて面と同じ
コントラスト(表) :	4(標準) ▼
コントラスト(裏) :	4(標準) ▼ <input type="checkbox"/> おもて面と同じ
超音波重送検知 :	<input checked="" type="radio"/> ON <input type="radio"/> OFF
長さによる重送検知 :	<input type="radio"/> ON <input checked="" type="radio"/> OFF
画像回転 :	<input checked="" type="radio"/> 0 <input type="radio"/> 90 <input type="radio"/> 180 <input type="radio"/> 270 <input type="radio"/> 自動
斜行補正 :	<input checked="" type="radio"/> 画面優先 <input type="radio"/> 速度優先 <input type="radio"/> OFF
裏写り除去 :	<input type="radio"/> ON <input checked="" type="radio"/> OFF
裏写り除去のレベル :	4(標準) ▼
カラードロップアウト	
おもて面のカラードロップアウト :	なし ▼
裏面のカラードロップアウト :	なし ▼

！重要

「超音波重送検知」は、ScanFront 300P を使用しているときに表示されます。

明るさ(表)

スキャンする画像の明るさを調整します。

明るさ(裏)

両面スキャンのときに有効で、原稿の表裏の濃淡に差があるときに使用します。[おもて面と同じ] チェックボックスをオフにすると、原稿の表裏で明るさの設定を変えることができます。

コントラスト(表)

スキャンする画像のコントラストを調整します。

コントラスト(裏)

両面スキャンのときに有効で、原稿の表裏の濃淡に差があるときに使用します。[おもて面と同じ] チェックボックスをオフにすると、原稿の表裏でコントラストの設定を変えることができます。

超音波重送検知 (ScanFront 300P のみ)

重なって搬送された原稿の間隙を超音波によって検出し、重送と判断したときに搬送を停止します。

！重要

- 原稿の重なりが50mm以上の重送に対して有効です。重なり量の短い重送に対しては、重送検知は機能しません。
- [読み取り面] を [半折り] に設定しているときは、超音波重送検知はグレー表示され、設定はできません。

長さによる重送検知

原稿の長さによって重送を判断し、重送と判断したときに搬送を停止します。

！重要

- 1 枚目の原稿の長さを基準とし、35mm 以上長い / 短い原稿を検知したときに重送として判断します。
- 用紙の長さの異なる原稿が混在しているときは、[長さによる重送検知] をオフにしてください。

画像回転

スキャンした画像を指定した角度に回転させます。



ヒント

「自動」を選択したときは、原稿内の文字の向きを検知して、文字の向きが正しくなるように画像を回転させます。



重要

「自動」を選択した場合、処理速度が低下することがあります。

斜行補正

傾いた原稿の搬送をスキャンした画像で検知して、画像がまっすぐになるように補正します。

• 画質優先

斜行補正で劣化した画像に画像処理を施して画質の劣化を抑えます。

• 速度優先

斜行補正により画像が若干劣化します。



重要

「画質優先」を選択すると、補正後の画質が向上します。ただし、処理速度が低下するため、大量にスキャンするときは「速度優先」をお使いください。

裏書き除去

裏面に文字などがある薄い原稿をスキャンするときなど、裏面の模様が画像に写り込むようなときに、写り込んだ裏面の模様の画像を除去します。



重要

裏書き除去の設定はモードの設定が「文字強調」のときは無効です。



ヒント

裏書き除去を使用するときは、原稿の状態に合わせて裏書き除去のレベルを調整します。

カラードロップアウト

カラードロップアウトには、赤色、青色、緑色の指定した色を読み飛ばす「ドロップアウト」と、指定した色を強調する「色強調」の機能があります。



重要

カラードロップアウトの設定はモードの設定が「カラー」のときは無効です。



ヒント

ドロップアウトで色の付いた罫線などを消去することにより、OCRの認識率が向上する場合があります。

□ ジョブボタンのコピー

ジョブボタンをコピーして、新しいジョブボタンとして登録します。

ここでは、「共有アドレス帳」から「マイアドレス帳」へのコピーを例として説明します。



ヒント

ジョブボタンのコピーは、ジョブボタンを共有ジョブボタンからマイジョブボタンにコピーしたり、設定の一部を変更して別のジョブボタンとして登録するときに使用します。

1. ジョブボタンの種類を「共有ジョブボタン」にします。
2. コピーするジョブボタンを選択し、[コピー] ボタンをクリックします。



3. コピー先を「マイジョブボタン」にして [OK] をクリックします。



4. コピーされたジョブボタンを確認します。



□ ジョブの編集

ジョブボタン一覧の [編集] をクリックして、登録されているジョブの内容を編集できます。編集できる項目については「ジョブボタンの新規登録」(→ P.4-17) と同じです。

□ ジョブボタンのエクスポート / インポート

ジョブボタンのデータを dat 形式の設定ファイルにバックアップおよび、バックアップしたジョブボタンの設定ファイルを他の ScanFront にインポートして使用します。

💡 ヒント

ScanFront が複数台あるときに、1 台の ScanFront で登録したジョブボタンの設定ファイルを他の ScanFront にインポートすることにより、同じジョブボタンを使用することができます。

デバイスからエクスポート

ジョブボタンの設定ファイルを指定したフォルダーに保存します。

1. [デバイスからエクスポート] をクリックします。



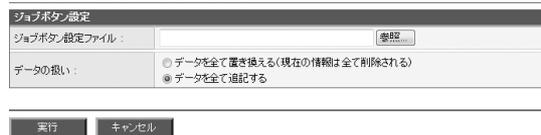
2. [保存] をクリックし、保存場所を指定してジョブボタンの設定ファイルを保存します。

デバイスへインポート

エクスポートしたジョブボタンの設定ファイルを ScanFront にインポートします。

1. [デバイスへインポート] をクリックします。

マイジョブボタン > ジョブボタンのインポート



2. エクスポートしたジョブボタンの設定ファイルを指定します。

3. ジョブボタンの設定ファイルをインポートした際の処理方法を選択します。

- データを全て置き換える：現在登録されているジョブボタンがすべて削除され、インポートするジョブボタンに置き換えられます。
- データを全て追記する：現在登録されているジョブボタンに、インポートするジョブボタンが追加されます。

4. [実行] をクリックします。

メッセージを確認してインポートを行います。



💡 ヒント

インポートが終了すると以下のメッセージが表示されます。[OK] をクリックしてジョブボタン設定に戻り、インポートされたジョブボタンを確認します。



第5章 こんなときは

1. 困ったときは.....	5-2
----------------	-----

1. 困ったときは

以下のようなときは、それぞれの対処方法に合わせて処理を行ってください。

ネットワーク、Web メニュー		
LDAP アドレス帳が使えない (特定のユーザのみ)	原因	管理者により LDAP アドレス帳の使用が制限されています。
	対処方法	ScanFront の管理者にお問い合わせください。
Webメニューで設定が更新できない	原因	ScanFront を使用中または、ユーザがログアウトしていない。
	対処方法	ScanFront 本体の状態を確認してからやり直してください。
Webメニューにアクセスできなくなった	原因	DHCP サーバから割り当てられた IP アドレスの変更
	対処方法	ScanFront の管理者に連絡して、ScanFront に割り当てられている IP アドレスを確認してください。
新しいフォルダーを作成できない。(共有フォルダー /FTP サーバ)	原因	入力したユーザ名、パスワードに共有フォルダーへの書き込み権限がない。
	対処方法	共有フォルダーの管理者にお問い合わせください。
宛先にメールアドレスを指定してスキャンを開始するとエラーになる	原因	メールサーバの設定が未登録または、メールサーバの設定が削除されている。
	対処方法	ScanFront の管理者にお問い合わせください。
アドレス帳 / ジョブボタンが編集できない (特定のユーザのみ)	原因	管理者によりアドレス帳 / ジョブボタンの編集が制限されています。
	対処方法	ScanFront の管理者にお問い合わせください。
アドレス帳の表示が正しくソートされない	原因	アドレスの「ふりがな」が正しく登録されていない。
	対処方法	アドレス帳の表示はふりがなでソートされます。(→ P.4-10) 宛先に登録されている「ふりがな」を確認してください。
共有フォルダーのみなど、特定の送信先しか選択できない (特定のユーザのみ)	原因	管理者により使用できる送信先が制限されています。
	対処方法	ScanFront の管理者にお問い合わせください。
社外からアクセスできる FTP サーバに接続できない	原因	ファイアウォールの設定を必要とする FTP サーバには接続できません。
	対処方法	ファイアウォールの設定を必要としない FTP サーバを使用してください。
電子メールの送信先で受け取ったメールの送信時間がずれている	原因	(1) 日時の設定が間違っている (2) タイムゾーンの設定が他国の設定になっている。
	対処方法	管理者に連絡して「言語 / タイムゾーン」の設定を確認してください。
電子メールの送信先で送信元のアドレスが表示されない	原因	ユーザと管理者のメールアドレスが未登録
	対処方法	管理者に連絡してメールアドレスを登録してください。
ネットワークに接続できない (IP アドレスの競合)	原因	設定した IP アドレスがすでに他のデバイスで使用されている。
	対処方法	ネットワークのシステム管理者に連絡して IP アドレスの設定を変更してください。
ネットワークに接続できない (LAN ケーブルの配線)	原因	LAN ケーブルの配線ミス。
	対処方法	LAN ケーブルの接続を確認してください。

ネットワークに接続できない (デバイス名の競合)	原因	設定したデバイス名がすでに他のデバイスで使用されている。
	対処方法	ネットワークのシステム管理者に連絡してデバイス名の設定を変更してください。ScanFront を 2 台以上導入したときはデバイス名を重複させないように注意してください。
フォルダーが削除できない	原因	フォルダーにデータが保存されている。
	対処方法	共有フォルダーの管理者にお問い合わせください。
	原因	入力したユーザ名、パスワードに共有フォルダーを変更する権限がない。
	対処方法	共有フォルダーの管理者にお問い合わせください。
ホーム画面からスキャンできない (特定のユーザのみ)	原因	管理者により「ジョブボタンのみ使用する」に制限されています。
	対処方法	ScanFront の管理者にお問い合わせください。
ログインできない	原因	大文字、小文字が正しく入力されていない。(→ P.3-5、P.4-3)
	対処方法	ユーザ名、パスワードの大文字、小文字を正しく入力してください。
アドレスの登録時に、共有フォルダーを参照できない	原因	Windows 7 または Windows Server 2008 R2 がインストールされたコンピューターの共有フォルダーを参照しようとしている。
	対処方法	共有フォルダーをフルパスで直接入力してください。 または、コンピューター名とその最上位のフォルダーまでのパスを入力してください (以降のフォルダーは【参照】ボタンを押して表示される画面で指定できます)。
異なるセグメントのネットワーク上の機器やフォルダーに画像ファイルを送信できない	原因	ScanFront Service Server がネットワーク上にない (導入されていない、または起動していない)。
	対処方法	ScanFront と同じネットワーク上にある任意のコンピューターに ScanFront Service をインストールしてください。ScanFront Service Server を導入済みの場合は、必要な設定を確認してください。また、ScanFront Service Server は、ScanFront の電源を入れる前に起動しておく必要があります。
スキャン		
画像にスジが入る	原因	読み取りガラスの汚れ
	対処方法	取扱説明書 (電子マニュアル) を参照して読み取りガラスの清掃を行ってください。読み取りガラスにキズが付いているときは、担当サービスに連絡してください。
紙詰まりになる	原因	搬送ローラーの汚れ
	対処方法	取扱説明書 (電子マニュアル) を参照してローラーの清掃を行ってください。
紙詰まりが多発する	原因	搬送ローラー (消耗品) の磨耗
	対処方法	ScanFront の管理者に連絡して、搬送ローラーを交換してください。
原稿が重送する	原因	静電気による原稿の密着
	対処方法	原稿の束をセットする前に、よくさばいてからセットしてください。
	原因	原稿の紙種による給紙エラー
	対処方法	原稿をセットする枚数を 10 枚以下にしてください。(→ P.2-9) または、分離 OFF で 1 枚ずつスキャンします。

原稿がまとまって搬送される	原因	給紙切替えレバーが分離 OFF の位置になっている。(→ P.2-4)
	対処方法	給紙切替えレバーを分離 ON の位置にしてください。
ジョブボタンを押すとスキャンがすぐに開始される (特定のジョブボタンのみ)	原因	ジョブボタンの設定で「読取設定画面をスキップする」が設定されています。(→ P.4-17)
	対処方法	ジョブボタンの設定を変更または、ジョブボタンを押す前に必ず原稿をセットしてください。
ハードウェア		
電源が入らない	原因	AC アダプターの接続ミス、電源プラグの抜け。
	対処方法	AC アダプター、電源コードの接続を確認してください。接続を確認しても電源が入らないときはお買い求めの販売店に連絡してください。
電源ボタンを押しても正常に起動しない	原因	USB メモリが ScanFront に挿入されている。
	対処方法	USB メモリを抜き、電源を入れ直してください。

第6章 付 録

1. 保証とアフターサービス	6-2
保証とアフターサービス.....	6-2
サービス&サポートのご案内.....	6-2
保守サービスのご案内.....	6-3
2. 索引	6-5

1. 保証とアフターサービス

□ 保証とアフターサービス

- この商品には保証書がついています。
保証書は、お買い上げ販売店でお渡しします。お買い上げ日、販売店名などの記入をお確かめの上、内容をよくお読みになり大切に保管してください。
- 保証期間
保証期間はお買い上げ日より 1 年間です。
- 修理サービスのご相談
修理サービスのご相談は、お買い上げの販売店または お客様相談センターへご相談ください。
- 修理を依頼される前に
「困ったときは」(→ P.5-2) にそって故障かどうか確かめください。それでも直らない場合は、直ちに電源プラグをコンセントから抜き、修理をご依頼ください。
- 修理を依頼されるときに、ご連絡いただきたいこと
 - お客様のお名前
 - ご住所、お電話番号
 - 商品の品番
 - 故障の内容 (できるだけ詳しく)
- 補修用性能部品について
保守サービスのために必要な補修用性能部品の最低保有期間は、製品の製造打ち切り後 5 年間です。(補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。)

□ サービス&サポートのご案内

- お客様相談センター
取扱い方法および修理に関するご相談は、お買い上げ頂いた販売店または下記の窓口にご相談ください。

お客様相談センター  050-555-90072
全国共通電話番号
受付時間 : <平日>9:00~12:00 / 13:00~17:00
(土日祝日と年末年始、弊社休業日は休ませていただきます。)

- ※ 上記番号は 050 から始まる IP 電話 (株式会社エヌ・ティ・ティエムイー(NTT-ME)のXePhion Call Direct) を利用しています。
NTT の固定電話 (一般回線) から地域・時間帯にかかわらず同一通話料金 (10.4 円 / 3 分) でご利用になれます。
- ※ 携帯電話・PHS をご利用の場合、ご契約先携帯電話事業者の定める通話料金となります。詳しくはご契約の携帯電話事業者にお問い合わせください。尚、一部の PHS からはご利用いただけませんのでご了承願います。
- ※ お客さまが 050 から始まる IP 電話をご利用の場合、プロバイダーのサービスによってつながらない場合があります。IP 電話からのご利用は、IP 電話事業者間の接続状況によります。NTT-ME の XePhion Call Direct の上記番号との通話 (接続) 可否については、ご契約のプロバイダーにお問い合わせください。IP 電話からつながらない場合の事象 (話中音、アナウンス、ブザー音など) はプロバイダーによって異なります。また、IP 電話の相互通話であっても上記番号との通話料金はプロバイダーによって異なります。詳しくはご契約のプロバイダーにお問い合わせください。

※ 上記番号におかけになってもつながらない場合は、NTTの固定電話（一般回線）からおかけいただくか、043-211-9156におかけくださいますようお願いいたします。

※ お客様相談センターの詳細につきましてはキヤノンホームページ (<http://cweb.canon.jp/e-support/rc/>) をご参照ください。

● 消耗品の入手方法

消耗品はお買い上げ頂いた販売店、お近くのキヤノン製品取扱店およびキヤノンマーケティングジャパン（株）販売窓口にてご購入ください。尚、ご不明な場合はお客様相談センターにご相談ください。

● キヤノンホームページ <http://canon.jp/>

※ <http://canon.jp/support> では、製品情報、ドライバのダウンロード、QA 検索などの情報が掲載されています。是非ご利用ください。

※ ホームページのレイアウトは、予告なく変更する場合があります。ご了承ください。

※ 通信料はお客様のご負担になります。

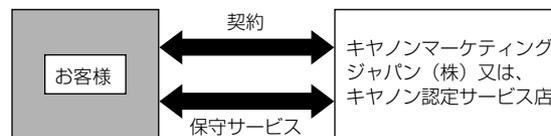
□ 保守サービスのご案内

● ご購入製品をいつまでもベストの状態でご使用いただくために

このたびはドキュメントスキャナをご購入いただき誠にありがとうございます。さて、毎日ご愛用いただくドキュメントスキャナの無償修理保証期間経過後の保守サービスとして「キヤノン保守契約制度」を用意しています。当制度はキヤノン製品を、いつも最高の状態で快適に、ご使用いただけますように充実した内容となっており、キヤノン認定の「サービスエンジニア」が責任をもって機能の維持・管理等、万全の処置を行ないます。お客様と、キヤノンをしっかりとつなぐ保守サービスで、キヤノン製品を末永くご愛用賜りますようお願い申し上げます。

キヤノン保守契約制度とは

ご購入後、定められた無償修理保証期間中に万一発生したトラブルは無償でサービスを実施します。保守契約制度とは、この無償修理保証期間の経過後の保守サービスを所定の料金で実施するサービスです。（製品により無償修理保証期間が異なります。また一部無償修理保証期間を設けていない製品もあります。）



● 精密機器だからこそ保守契約が必要です

ご購入いただきました機器は精密機器です。万一、思いがけないトラブルが発生した場合、時間的なロスだけでなく、予期せぬ出費が発生します。そこで、トラブルが起こってからではなく、事前に一定の料金をお支払いいただくことで、ご愛用の機器の修理に備えるのがキヤノンの保守契約制度です。

キヤノン保守契約制度のメリット

- 都度の修理料金は不要

保守契約料金には、訪問料、技術料、部品代が含まれています。

万一のトラブル時も予期せぬ出費が発生することがありません。

- 保守点検の実施

お客様のご要望により、機器の保守点検を追加できます。(別途、有料となります。)

※ 天災、火災、第三者の改造等に起因するトラブルは除きます。

※ 消耗品およびキヤノン指定の部品は対象外となります。

購入時契約のおすすめ

ご愛用品は原則として保守契約に加入してご使用願うことになっております。また、ご購入時に加入いただきますと、手続きなどの手間は一度ですみ便利です。

キヤノン保守契約に関するお申し込み、お問い合わせはお買い上げの販売店もしくはキヤノンマーケティングジャパン(株)までお願いします。

2. 索引

あ

宛先	
コピー	3-24, 4-12
新規登録	3-21, 4-10
変更	3-24
ジョブボタン設定	
宛先設定	4-17
宛先タイプ	
共有フォルダ	4-11, 3-21
グループ	3-23, 4-12
メール	3-21, 4-10
FAX	4-12
FTP	3-22
FTP サーバ	4-10
アドレス選択画面	3-14
アドレス帳設定	4-8
アドレス帳のエクスポート / インポート	4-13
安全にお使いいただくために	1-2

い

インデックス設定	4-6, 4-18
----------	-----------

か

カード	2-2
カードのセット	2-7
各部の名称と機能	1-5
カスタムファイル名設定	4-6
紙詰まり	2-8

き

給紙切り替えレバー	2-4
給紙トレイ	2-3

け

原稿積載マーク	2-5
原稿について	2-2
原稿のセット	2-5

こ

困ったときは	5-2
--------	-----

さ

サーバ認証	3-4, 4-3
-------	----------

し

指紋センサー	1-5, 2-10
指紋認証	2-10, 3-7
指紋の登録	3-10
重送	2-8
詳細設定	3-28, 4-21
ジョブボタン画面	3-8
ジョブボタン設定	4-15, 4-17
宛先設定	4-17
詳細設定	4-17
送信設定	4-17
メール設定	4-17
読取設定	4-17
ジョブボタンのエクスポート / インポート	4-23
ジョブボタンのコピー	4-22
ジョブボタンの新規登録	4-17

す

スキャナーの移動	1-2
スキャナーの準備	2-3
スキャン	3-17
スキャン設定	3-27
基本条件設定	3-27
詳細設定	3-28

せ

セキュリティ設定	3-32
設置場所	1-2

そ

送信設定	3-32
送信までの流れ	3-2

ち

長尺紙のセット	2-6
---------	-----

て

デバイス認証	3-4, 4-3
電源のオフ	3-3
電源のオン	3-3

に

日常の取り扱い	1-3
---------------	-----

は

廃棄	1-4
排紙トレイ	2-3
はじめに	i
半折り原稿のセット	2-6

ふ

ファイル形式	3-31, 4-20
普通紙	2-2

ほ

ホーム画面	3-8
-------------	-----

も

文字入力型ログイン	3-6
-----------------	-----

ゆ

ユーザ設定画面	3-9
指紋登録	3-9
パスワード変更	3-9
ユーザ設定	4-4

よ

読取設定	4-18
読取 / 送信設定	3-26

り

リスト選択型ログイン	3-5
------------------	-----

ろ

ログイン画面	
サーバ認証	3-4
文字入力型	3-4
リスト選択型	3-4
ロックレバー	2-9

A

AC アダプター	1-6
----------------	-----

U

USB ポート	2-4
USB メモリ	3-15
USB メモリ画面	3-15

W

Web メニュー	
ユーザモード	4-2
Web メニューについて	4-2
Web メニューへのログイン	4-3

Canon

キヤノンマーケティングジャパン株式会社

〒108-8011 東京都港区港南 2-16-6 CANON **S**TOWER